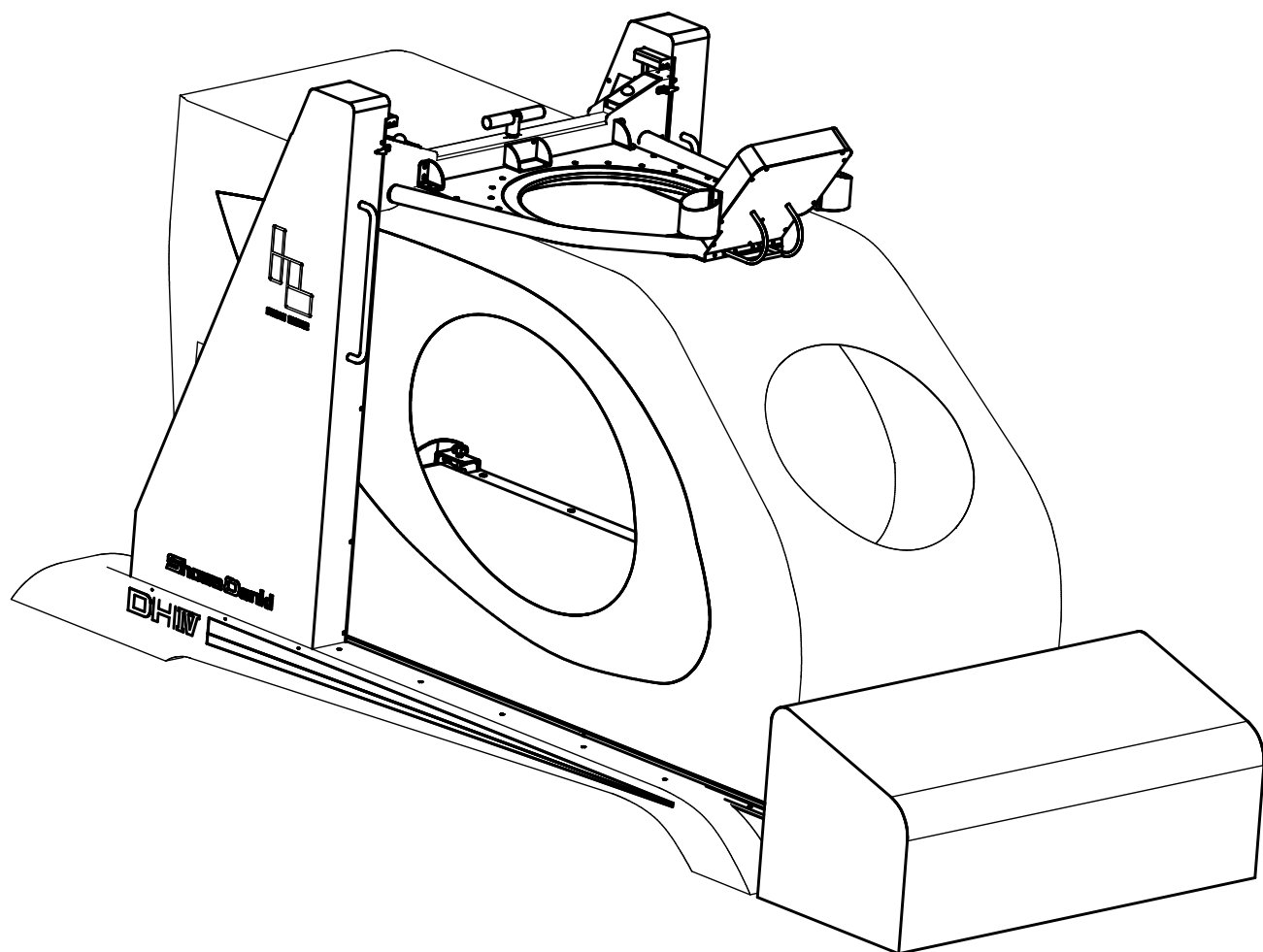


H06-C

走力トレーニング装置 DREAM HUNTER

取扱説明書・注意書



 **Showa Denki**

このたびは、昭和電機のトレーニング装置をお買い上げいただきありがとうございます。
本機を安全にご利用いただくために、この取扱説明書・注意書【特に△マーク部】をよくお読みください。

この取扱説明書・注意書は、大切に保管してご活用ください

【目次】




1. 取扱説明書・注意書の見方について	2～6
2. 各部の名称、及び付属品について	7～9
3. タッチパネルについて	10～12
4. 本機の使用方法について	
<電源について>	13
<ウエストシールの装着について>	14～16
<本機の運転について>	17～18
<緊急停止について>	19
<タッチパネルの操作について>	
(1)基本フロー	20～24
(2)ホーム画面について	25～26
(3)メニューフローについて	
<マニュアルモード>	27～28
<インターバルモード>	29～30
<ビルドアップモード>	31～32
(4)その他の画面について	33～35
(5)エラー画面一覧	35～37
5. 移動・設置について	38～39
6. 緊急時の脱出について	39
7. トレーニングについて	39
8. メンテナンスについて	
<圧力ジャケットの取り外し、取り付け方>	40
<走行ベルトの張り・偏り調整について>	41
<圧力ジャケット内の清掃について>	42
<装置全体の手入れについて>	42
<圧力ジャケットについて>	42
<ウエストシールについて>	42
<バッテリーの交換手順>	43
9. 消耗品、定期点検項目について	44～45
10. トラブルシューティング	46～48
11. 仕様	49
12. 保証について	49

※本製品は、予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

1. 取扱説明書・注意書の見方について

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用される方々への危害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをする
と生じる事が想定される内容を『危険』『警告』『注意』の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告用語	意 味
 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負う場合に使用しています。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用しています。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合、または製品に不具合が生じる場合に使用しています。

本書記載の『危険』『警告』『注意』事項を順守されずに使用されて生じたいかなる事故につきましても、弊社といたしましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

危険

- 本機の近くで可燃性および引火性の気体・液体を使用しないでください。
- 本機の配線は、必ず電気工事の有資格者が電気設備技術基準や内線規程に従い施工してください。
- 本機の分解・改造は絶対におやめください。
- ウエストシールに火の気を近づけないでください。生地が溶けたり燃えたりする可能性があります。

⚠ 注意

<設置上の注意事項>

- 本機は必ず平らな場所に設置してください。
- アジャスタを設置することにより本機を固定してください。
- 本機は屋内での使用に限定し、屋外では使用しないでください。
- 使用場所の周辺に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず周囲を整理整頓してから使用してください。
- 水のかからない場所に設置・保管してください。また、熱器具の近くや浴室など湿気の多い場所への設置は避けてください。
- 湿度・風通し・日光に留意し、ほこり・塩分・硫黄分などにより、悪影響が生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- メンテナンススペースとして、本機の周囲1.5m以上あけてください。
- 圧力ジャケットに穴・裂けなどが無いか確認してください。
- 本機には、絶対に物を置かないでください。
- 本機の走行ベルト以外の場所には乗らないでください。
- 電圧、周波数が正しく供給できる場所に設置してください。
- 本機を設置する時にはアースを正しく確実に接地してください。
- コード類が正しく確実に接続されているかご確認ください。
- コード類を取り外す時は必ず電源を「OFF」にした状態で正しく持って取り外してください。
- 弊社指定のコード類以外は絶対に接続しないでください。電気仕様の違いにより破損原因となる可能性があります。
- 制御ボックスと本体を離して設置しないでください。

<電動機器の注意事項>

- 本機は3相・AC200V電源以外で使用しないでください。
- 電源は定格30A以上のコンセントを単独で使用してください。他の機器と共用するとブレーカが作動する可能性があります。
- 使用されない時や雷が鳴り出した時には、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障、感電、漏電、発火の原因となることがあります。
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、濡れた手で触ったり、電源コードを引っ張ったりしないでください。また、電源コードや電源プラグが痛んでいる、電源プラグの差し込みが緩んでいるままでのご使用はしないでください。故障、感電、漏電、発火の原因となります。
- 走行ベルトに無理な負担をかけるような使用はしないでください。故障、発熱、発火の原因となります。
- 室温は10℃～30℃で使用してください。室温が低いとモータが正常に動作しない事があります。
- 本機を使用できる状態にするときは、コンセントに電源プラグを差し込み、制御ボックスの電源スイッチを「OFF」から「ON」にしてください。
- 本機を停止させるときは、制御ボックスにある電源スイッチを「ON」から「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 万一、異常な音・振動・におい・煙が出た時は、制御ボックスにある電源スイッチを「ON」から「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。また弊社（または販売店）までご連絡ください。
- 本機の電源を入れる前に必ず制御ボックスと手持ち用タッチパネルのコードが正しく接続されていることを確認してください。接続不良は、故障、感電、漏電、発火の原因になります。
- 異物を本機内に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障、感電、漏電、発火の原因になります。

警告

<使用前の警告事項>

- 本機は走行によるトレーニングを支援するためのトレッドミルです。人の運動の目的以外では使用しないでください。
- 本機は日本国内でのみ使用ください。
- 本機の使用はリハビリテーションまたは、トレーニングをされる方を対象としています。リハビリテーションを目的として使用する場合は医師の指導のもと、使用してください。
次に該当する方は本機を使用しないでください。
 - ・医師が使用を不相当と認めた方

次に該当する方は必ず医師に相談の上、使用してください。

- ・医師の治療を受けている方
- ・知覚障害のある方
- ・妊娠している、または妊娠の疑いのある方
- ・皮膚疾患のある方
- ・血行障害、血管障害など循環器に障害をお持ちの方
- ・骨粗鬆症など骨に異常のある方
- ・心臓に疾患のある方
- ・ペースメーカーなどの体内植込型医療電子機器を使用している方
- ・呼吸器障害をお持ちの方
- ・高血圧症の方
- ・リウマチ症、痛風、変形性関節炎等の方
- ・腰痛（椎間板ヘルニア・脊柱すべり症・脊柱分離症など）のある方
- ・脚部に静脈りゅうなどの重度の血行障害や血栓症などのある方

上記以外に身体に異常を感じている時

- 本機を使用する前に必ず準備体操を行ってください。
- 急激な運動は体に過度の負担がかかりますので、無理をせず、少しでも異常を感じたら直ちに運動を中止し、医師にご相談ください。
- 本機は1人専用のトレーニング装置です。同時に2人以上での走行をしないでください。
- 走者用タッチパネルを正面にして使用し、後ろ向きに使用しないでください。
- 昇降枠・支柱の接合部分、ボルト等にガタツキや緩み等が無いか確認してください。
- 各部の機能が正しく作動しているかどうか、使用前に必ず点検してください。

⚠ 注意

<使用上の注意事項>

- 食後すぐのトレーニングは控えてください。食後2時間くらいあけてからトレーニングする事をお勧めします。また、飲食・喫煙しながらの運動や飲酒後の運動をしないでください。
- 本機を使用の時は、動きやすい服装に着替えて、使用される方のサイズに合った運動靴を穿き、靴紐が巻き込まれないようにしっかりと結んでください。素足やスリッパ穿きで運動しないでください。
- ゴムひものズボンで本機を使用の場合、ウエストシールを脱ぐ際に一緒に脱げてしまう可能性がありますので、ウエストに固定できる紐付きズボンの着用をお勧めします。
- 本機の使用体重制限は120kgですが、トレッドミル速度に制限があります。制限を超えない速度で使用してください。制限を超えて使用するとモータなどの故障につながります。
(トレッドミル速度制限についてはP. 17 ウエストサイズについてはP. 14参照)
- 連続使用可能時間は120分です。
- 本機は使用者の走行の際に下半身にかかる負担を空気力で軽減しています。本機使用后、空気の力が無くなると、下半身に従来以上の重さを感じる事があります。
- 走行ベルトは消耗品です。使用条件・環境にもよりますが、10,000kmを交換目安としてください。走行ベルトの交換を怠りますと、モータなどの故障につながります。
- 走行ベルトは有償にて交換いたします。弊社（または販売店）までご連絡ください。
- 本機の操作は全てタッチパネル（走者用、手持ち用）で行います。速度調整、免荷率調整、傾斜率調整を介添人が行う場合、本機使用者が運動するのに危険のない範囲で行ってください。
- 表示画面上のタッチスイッチの操作は必ず人の手で行ってください。必要以上に強い力を加えたり、硬いものや、尖ったもので操作するとタッチパネルの故障の原因となる事があります。
- トレッドミルの運転中に走行ベルトに触れないでください。指の巻き込まれの恐れがあります。
- 本機のトレッドミルは電動です。使用中に緊急停止させる場合は、タッチパネル（走者用、手持ち用）の「緊急停止ボタン」を押してトレッドミルを停止させてください。
- 本機は下半身にかかる負担を軽減させるために、ウエストシールの着用が必要です。着用される際には、ウエストシールの前後を確認して着用してください。
- ウエストシールの取付位置を誤ると体重の軽減が得られない場合があります。正しい位置にて使用してください。（P. 16参照）
- 使用前にウエストシールにホツレ・破損が無いか確認してください。
- 本機使用中はお子様近づかないようにしてください。
- 尖ったもの、製品を傷つけるようなものを持って走行しないでください。
- 免荷中は、圧力ジャケットに触れないようにしてください。特に支柱と圧力ジャケットの間に手や異物を入れないでください。
- 使用前に圧力ジャケットに穴・裂けなどが無いか確認してください。
- ウエストリングの上に乗らないでください。ケガや事故、機器の破損の原因となります。

注意

<ウエストシールについての注意事項>

◎スカート部

- 通気性の無い独立発泡ゴム製です。保管の際にはしわができないようフックなどで吊ってください。保管状態が悪いとしわが戻らなくなり、空気漏れの原因となります。
- 着用時に不快感、肌に異常を感じた時はただちに着用を止めてください。
- 日光による変色、変質の恐れがありますので、必ず直射日光を避けて保管してください。

◎スパッツ部

- 着用時に不快感、肌に異常を感じた時はただちに着用を止めてください。
- 日光による変退色の恐れがありますので、必ず直射日光を避けて保管してください

<お手入れについての注意事項>

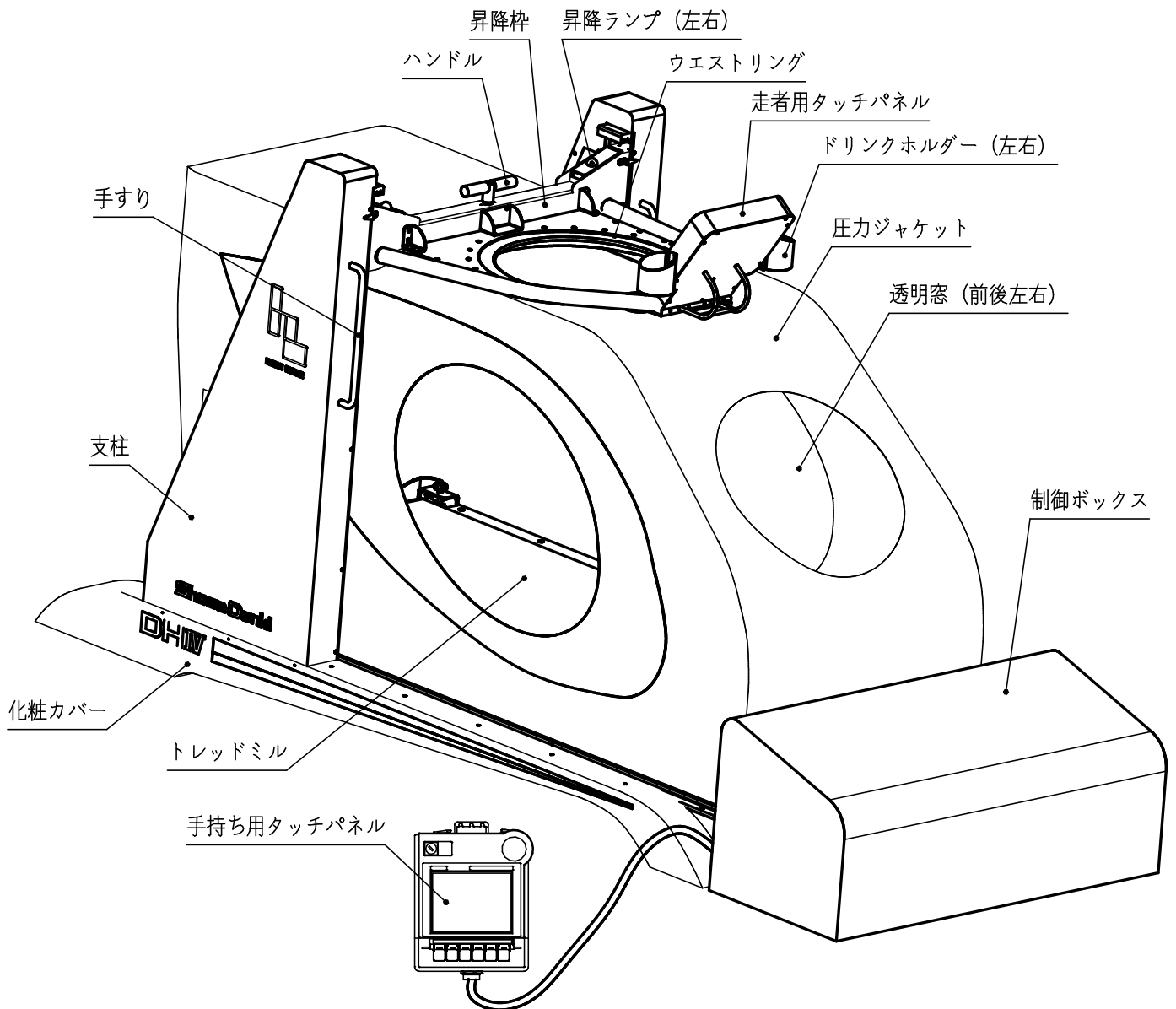
- お手入れの際には必ず制御ボックスの電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を長期にわたり使用していただくために、定期的にはほこり、汚れを拭き取ってください。
- 本機、または圧力ジャケットは、水、ぬるま湯または薄めた中性洗剤でお手入れしてください。アルコール及び有機溶剤（例：シンナー）等は使用しないでください。劣化や生地への破損の恐れがあります。
- ウエストシール（スパッツ、スカート共に）は、水、ぬるま湯または薄めた中性洗剤で洗い、陰干ししてください。塩素系の洗剤は使用しないでください。変色・変質が起こる場合があります。

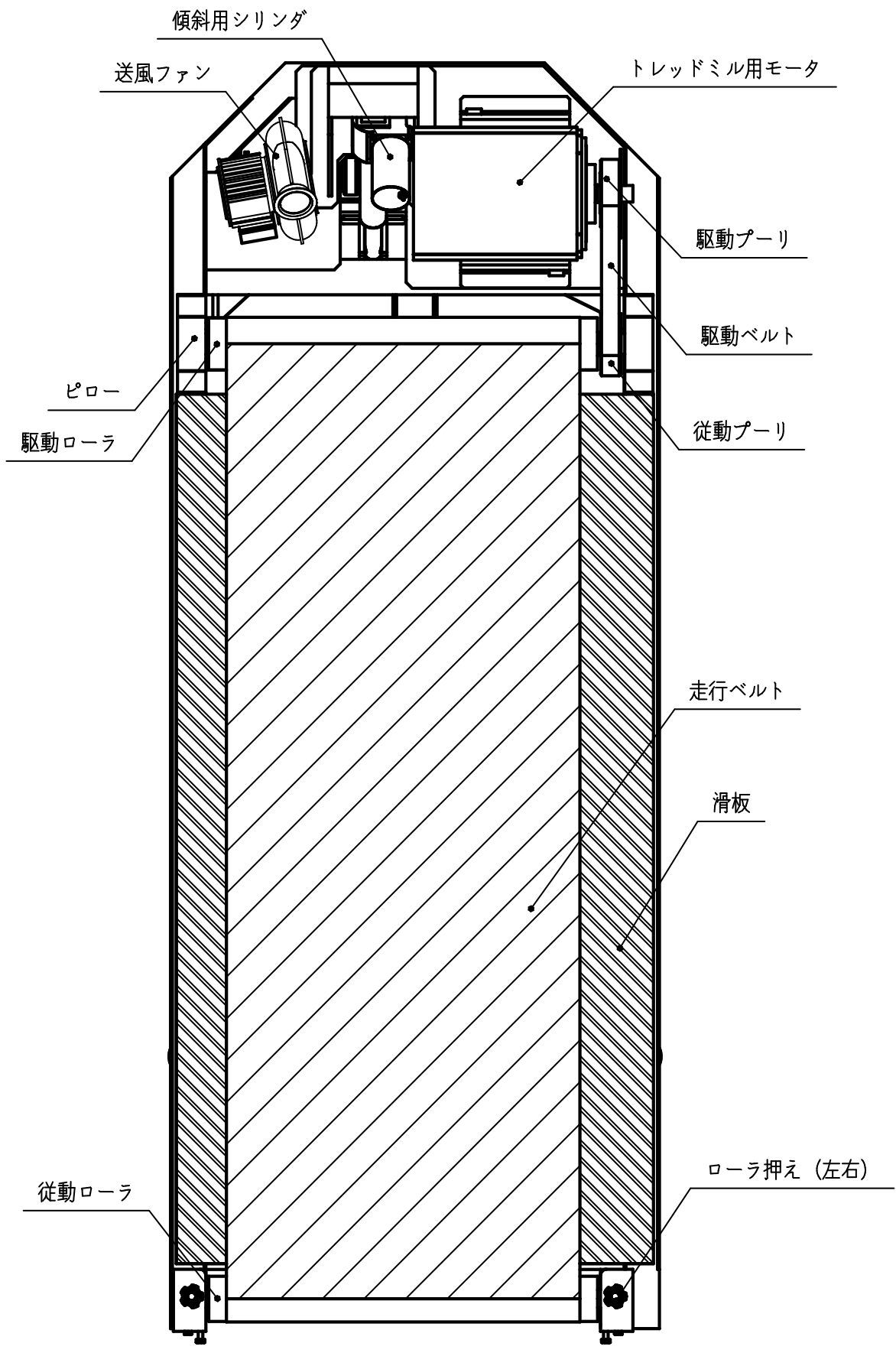
<保管についての注意事項>

- 保管場所は本機でつまづかないような場所に置いてください。また、必要に応じてカバーを被せてください。また、直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には保管しないでください。
- 昇降棒を上へあげた状態で保管してください。
- 長期間保管され、再び使用される場合は、本書の警告及び注意事項を再確認の上、使用してください。

2. 各部の名称、及び付属品について

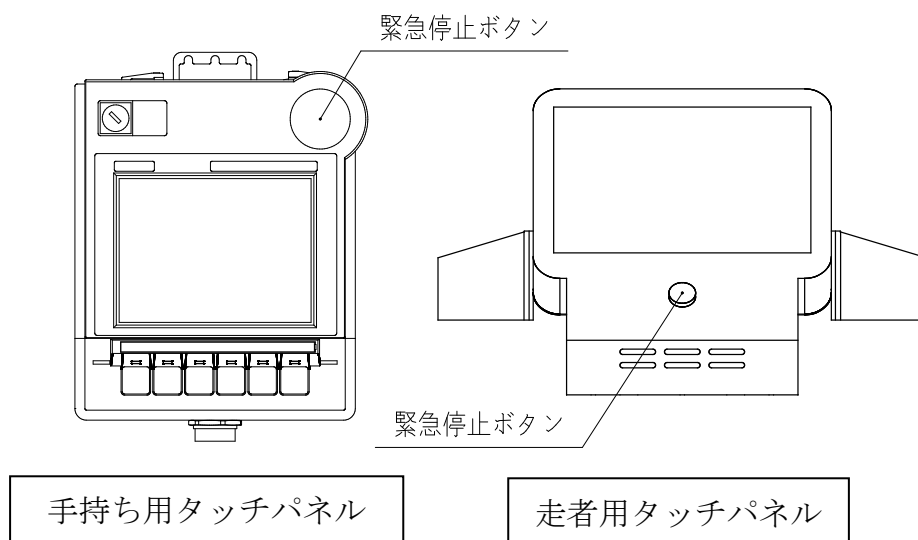
本体 + 制御ボックス





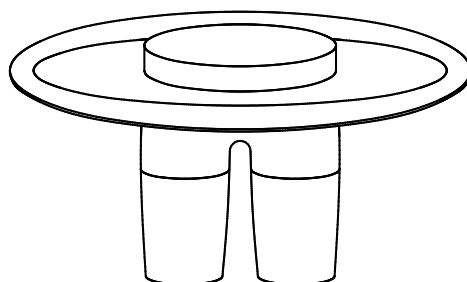
トレッドミル平面図 (内部)

タッチパネル

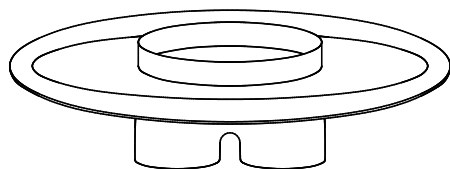


付属品

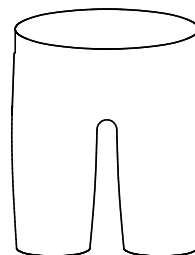
- ・ ウェストシール 4セット (セット内容: スカート1着、スパッツ2着)
- ・ 取扱説明書 1冊



ウェストシール (合体状態)



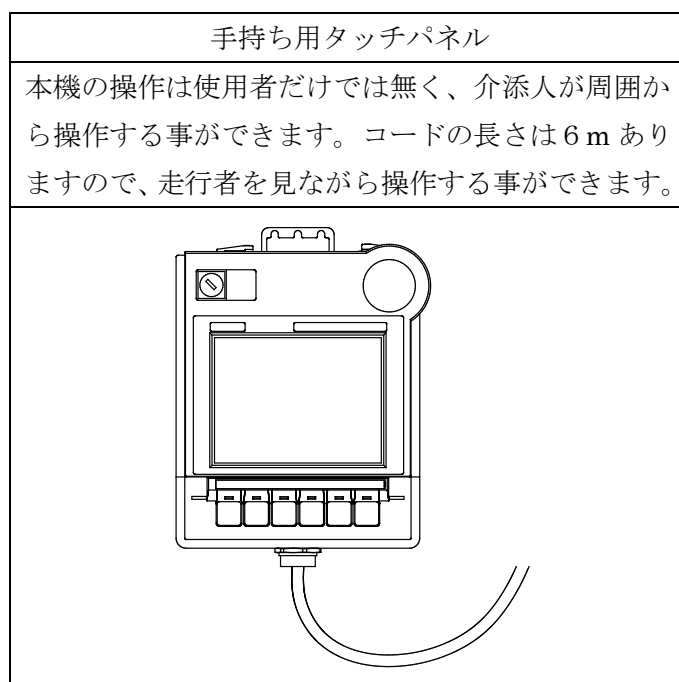
スカート



スパッツ

3. タッチパネルについて

本機の操作はタッチパネルで行います。「走者用」と「手持ち用」の両方で操作可能です。画面構成は少し異なりますが、使用できる機能は同じです。



- ⚠ 注意** 手持ち用タッチパネルを無理に引っ張らないでください。故障の原因となります。
- ⚠ 注意** 走者自身が無理な速度で走行しながらのタッチパネルを操作することは危険です。

●タッチパネルの寿命について

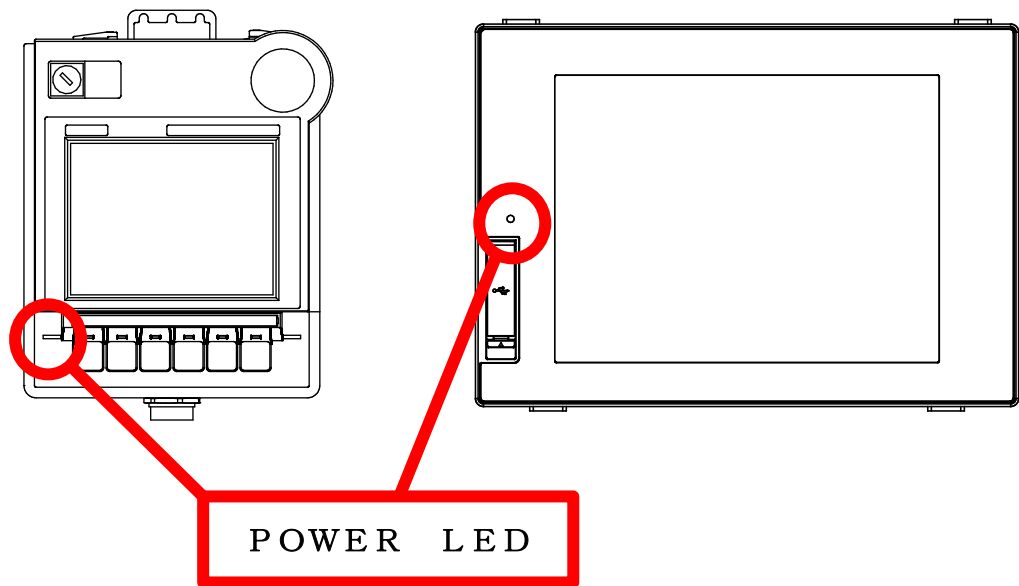
走者用、手持ち用タッチパネルは液晶表示用にバックライトを内蔵しています。バックライト切れを検出するとPOWER LEDが点滅します。(橙色と緑色の交互) この状態になると装置を動かす事ができなくなります。また、タッチパネルの色彩寿命が尽きるとコントラストが低くなり、表示品位が低下します。

バックライト切れ、またはタッチパネルの色彩寿命が尽きた場合は、弊社（または販売店）までご連絡ください。

※バックライトの寿命は走者用が約50,000時間、手持ち用が約75,000時間です。

※タッチパネルの色彩寿命は走者用が約43,000時間、手持ち用が約50,000時間です。

△危険 バックライトが切れた場合、または故障の場合にタッチ操作を行うと、
トレッドミルや免荷が動作する恐れがあります。
トレッドミルが動くと大変危険ですので、表示部を触らないでください。



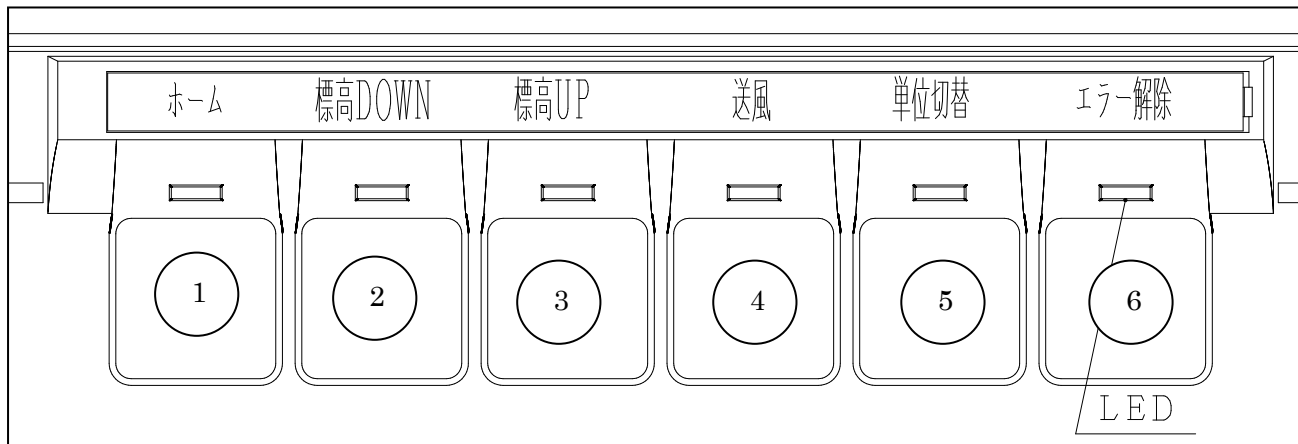
手持ち用タッチパネルには、バッテリーが内蔵されています。バッテリーの寿命が尽きるとタッチパネルの時計機能が正常に動作せず、一部の機能に不具合が生じます。メンテナンス時期の表示に影響がありますので、バッテリー交換の画面が表示された場合、バッテリーの交換を行ってください。

(P. 43参照)

※バッテリーの寿命は約5年です。

●手持ち用タッチパネルについて

タッチパネルは、走者用と手持ち用で画面構成が異なりますが、使用できる機能は同じです。
手持ち用のタッチパネルは一部の操作を画面下にあるメニューボタンを用いて操作を行います。



- ①ホーム・・・・・・・・・・ホーム画面に戻ります。
ホーム画面にある時はLEDランプが点滅します。
ホーム画面に移動できる時はLEDランプが点灯します。
- ②標高 DOWN・・・・・・・・・・標高を低くします。
※低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。
- ③標高 UP・・・・・・・・・・標高を高くします。
※低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。
- ④送風・・・・・・・・・・送風ファンを始動させます。
※ON/OFFを連続して繰り返さないでください。故障の原因になります。
送風ファンが始動できる状態の時はLEDランプが点灯しています。
送風ファンを始動している状態の時はLEDランプが点滅しています。
- ⑤単位切替・・・・・・・・・・単位切り替えが出来る画面にある時、LEDランプが点灯します。
(マニュアルモード、インターバルモード、ビルドアップモード)
- ⑥エラー解除・・・・・・・・・・何らかのエラーが発生した時、LEDランプが点滅します。

※タッチパネル画面がバッテリー切れを起こした時は、全てのLEDランプが点滅します。

※タッチパネル背面の持ち手のところにも押しボタンが1つ配置されていますが、使用しません。

※タッチパネル左上にある鍵穴はシステム保全専用です。使用しないでください。

※タッチパネル上面のフタはシステム保全専用ですので開けないでください。ほこりなどが入ると故障の原因となります。

4. 本機の使用方法について

本機は、空気のパワーを用いて体を浮かし、下半身にかかる負担を軽減させることで無理なくトレーニングを行うためのものです。各使用方法を読んだ後、正しく使用してください。

<電源について>

(1) 外部電源と接続

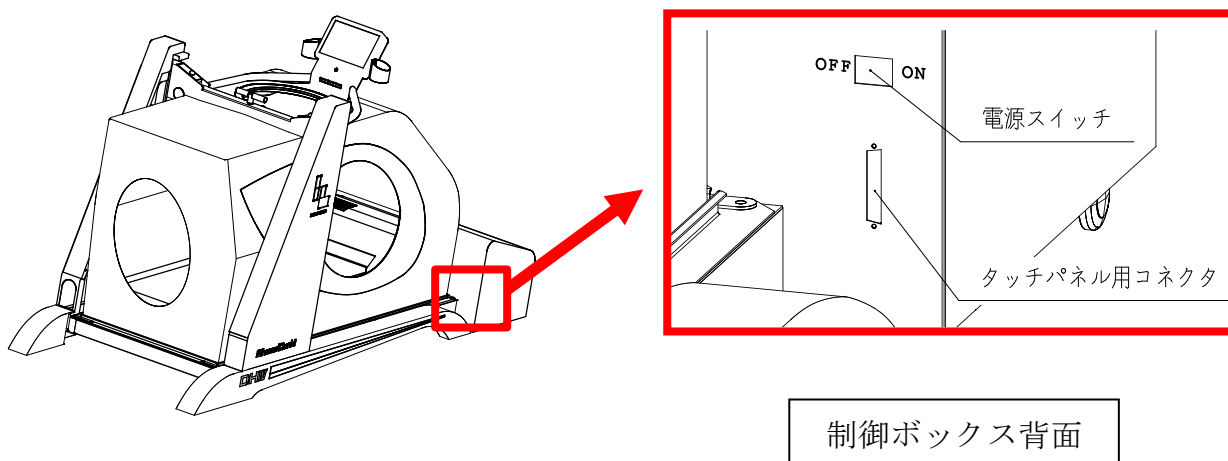
電源プラグをコンセント（3極接地付き30A以上の許容電流のもの）に接続してください。

(2) 電源を入れる

制御ボックスの電源スイッチを「OFF」から「ON」にします。

この時、電源スイッチが点灯します。

タッチパネルの電源が自動的に入り、約20秒で使用可能になります。



● 始動画面

電源スイッチを「ON」にするとタッチパネル画面に「注意文」が表示されますので、使用前に必ず読んでください。確認ボタンで次へ進みます。

⚠ 注意 起動中に電源を切らないでください。内部データが破損する場合があります。

<ウエストシールの装着について>

(1) ウエストシール（スパッツ、スカート）を着用
乗り込む前に、スパッツとスカートを着用します。



スパッツ



スカート上面



スカート下面

①スパッツとスカートのマジックテープ部を合わせて一体化します。

②一体化したウエストシールを穿きます。

※使用者のサイズに合ったウエストシール（下記サイズ表参照）を穿いてください。

※スパッツとスカートのサイズがウエスト付近に記載されています。サイズの表示のある面が前方向です。

※ウエストシールは股上が浅く作られています。しっかりと穿いても腰骨あたりまでしかありません。無理に引き上げないようにしてください。破損の原因となります。



表 ウエストシール サイズ表

単位 cm	3S	SS	S	M	L	LL	3L	4L	K1	K2	K3	K4
ヒップ	74～	76～	80～	82～	86～	91～	96～	101～	105～	115～	125～	135～
	80	82	86	86	93	98	103	108	115	125	135	145
モモ	41～	43～	45～	47～	49～	51～	53～	54～	55～	59～	63～	68～
	45	47	49	51	53	55	57	58	60	64	68	73
ウエスト	56～	60～	64～	68～	73～	77～	82～	88～	96～	106～	116～	126～
	62	66	70	75	79	83	88	96	106	116	126	136

※太枠で囲っているサイズが標準付属されているウエストシールです。

※太枠以外のサイズが必要な場合は弊社までご連絡ください。

(2) 乗り込む

昇降枠が一番下まで下がった状態で支柱の手すりを持ちながらウエストリングの左右より乗り込みます。

※段差がありますので足元に気を付けて乗り込んでください。

△注意 圧力ジャケットの透明部分を踏まないように乗り込んでください。
破損、汚れの原因となります。

(3) 昇降枠の高さ設定

ウエストシールのスカート外周部が水平位置になるように高さを設定してください。(下図参照)

昇降枠のハンドルを持ち、ウエストシールの端面付近まで持ち上げます。

そのまま、支柱にある目盛りに合わせ、手を離します。

固定ができた場合、左右にある昇降ランプが点灯します。

※この数字は高さの目安です。高さに違和感があれば適切と思われる位置に変更してください。

※高さの設定位置により、正常な体重の軽減効果が得られない場合があります。

※ハンドルを離した後、昇降枠を持ち少し上下させてください。しっかりと固定ができているか確認してください。

※高さ設定は、ウエストリングとウエストシールを分離した状態で行ってください。

△注意 本機を使用中(免荷中)にハンドル操作(昇降枠のロック解除)をしないでください。内圧により昇降枠が勢いよく持ち上げられる恐れがあります。

昇降枠のハンドルをつかんで、下方向に軽く押し下げながら時計回りにひねってください。
※無理な力でひねらないでください。

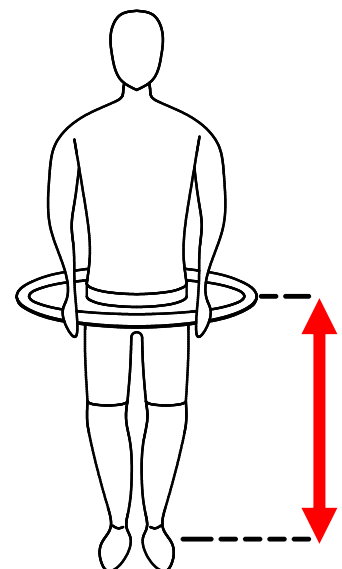
ウエストシールのスカート部が水平になる位置に昇降枠を設定してください。



昇降枠
ロック中

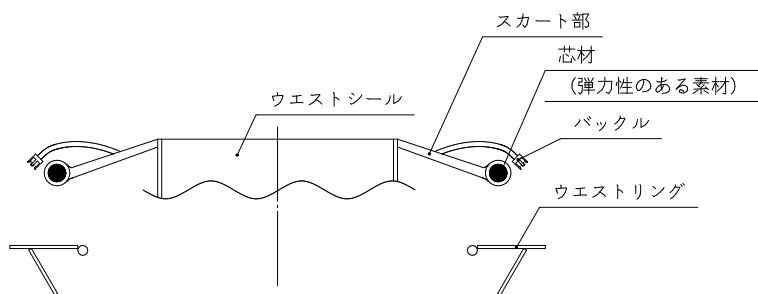


昇降枠
ロック解除中

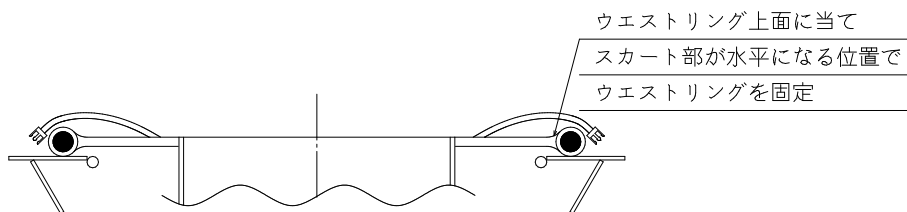


(4) ウエストシールの装着

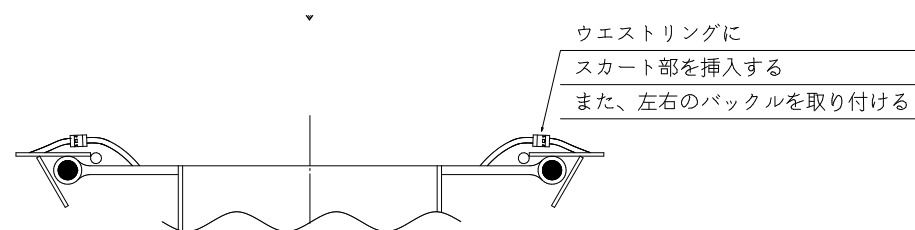
A. ウエストシール装着前



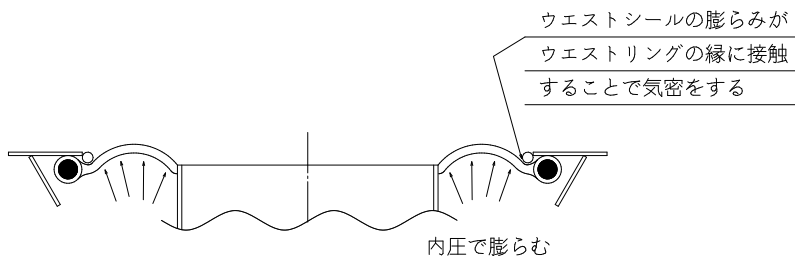
B. 昇降枠の高さ設定



C. ウエストシールの装着



D. 本機使用中



※ウエストシールの芯材部の全周をしっかりとウエストリングに取り付けてください。
正しく取り付けされていない場合は、空気漏れの原因となり圧力ジャケットが
適切に膨らまない可能性があります。

△注意 ※バックルは使用者の転倒防止のためにあります。必ず、取り付けてください。

<本機の運転について>

(1) 本機の運転

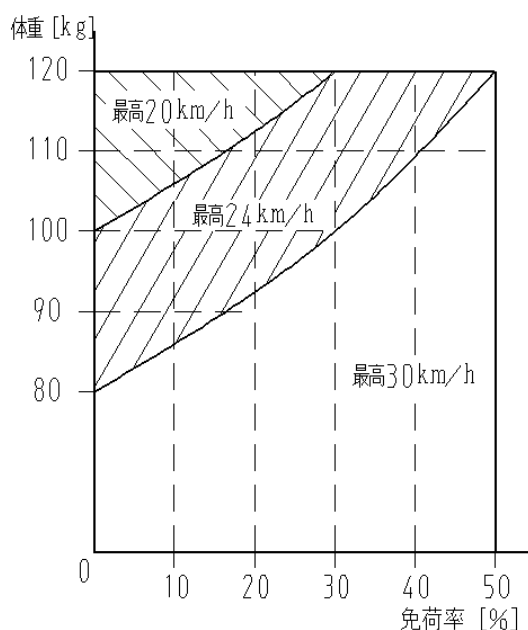
モード選択・標高・免荷率・速度の設定を行い、本機を運転させます。

免荷率が目標値に達するまで約20～30秒かかります。免荷率が目標値に達してからトレッドミルを運転してください。

※周囲の空気を圧力ジャケット内に送ることで免荷を行います。室温が低いと送られてくる空気の温度も低いので寒く感じる事があります。

※免荷率・速度設定の方法はP. 27～P. 32を参照ください。

※トレッドミル速度について下記の制限があります。範囲内で使用してください。



トレッドミル速度範囲表

▲注意 圧力ジャケットの膨らみが不十分な状態で走ると圧力ジャケットに脚が当たる事があります。

(2) 本機の運転終了

本機使用後は、まずトレッドミルと免荷を停止します。

「走行中 (停止)」にタッチするとトレッドミルが停止します。また「免荷中 (停止)」にタッチすると免荷が停止します。傾斜率が設定されている場合、免荷を停止すると自動的に傾斜率が0%に戻ります。

▲注意 免荷を停止して内圧が無くなると、軽減されていた体重が元に戻ります。この時、体に従来以上の重さを感じる事があります。徐々に免荷を弱めてから停止させることをお勧めします。

(3) 本機からの脱出

バックルを外して、ウエストシールをウエストリングから外してください。

昇降枠のハンドルを操作して、昇降枠のロックを解除してください。

昇降枠を一番下まで下げた状態で、本機に乗り込んだ時とは逆の手順で本機から出てください。

(4) 電源を切る

本機から降りた後、制御ボックスの電源スイッチを「ON」から「OFF」にします。

↓

昇降枠のハンドルを操作して、昇降枠のロックを解除し、昇降枠を上げます。

↓

電源プラグをコンセントから抜きます。

※本機を使い終わりましたら、昇降枠を持ち上げた状態(昇降枠の高さ：5～8段)で保管してください。

※低酸素発生装置も同時に使用されている場合は、先に低酸素発生装置を「OFF」にしてください。

▲注意 トレッドミルと免荷を停止させる前に、電源スイッチを「OFF」にすると傾斜率は0%になりません。

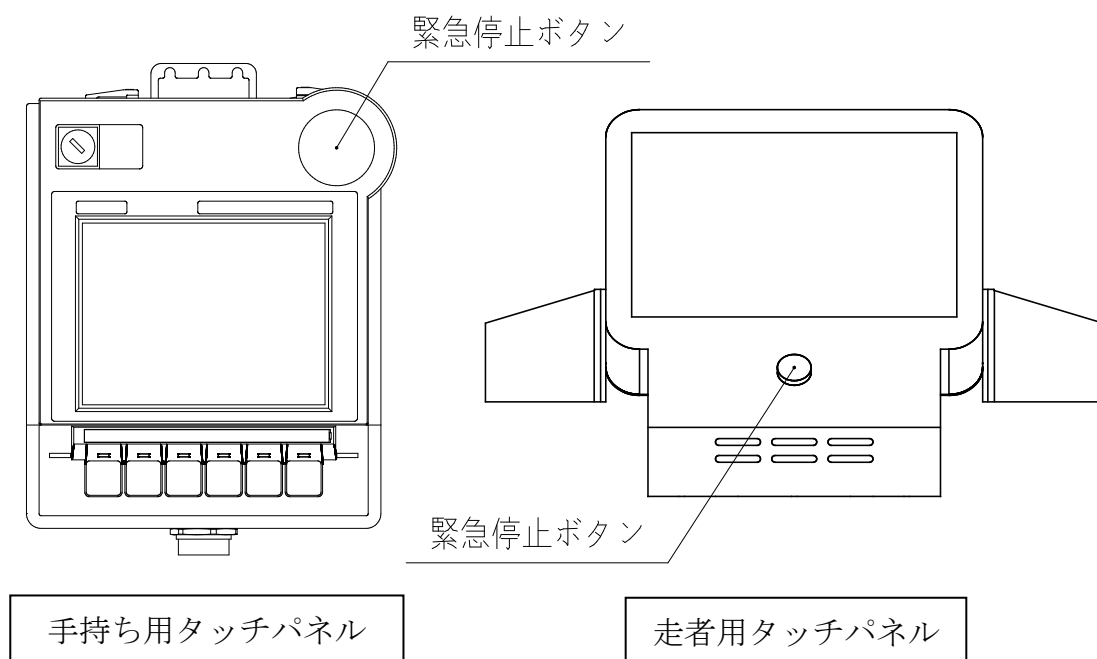
<緊急停止について>

(1) 装置を緊急停止させたい。

本機には赤い緊急停止ボタンが走者用タッチパネルと手持ち用タッチパネルに1つずつ付いています。使用者が万一、運動についていけない場合やベルトに足を取られた場合に緊急停止ボタンを押すとトレッドミルが急停止します。

※停止するまでに最大5秒程かかります。(速度により異なる)

また、リハビリテーション中など介添人が使用者に何らかの異常を感じた時には、緊急停止ボタンを押してください。



(2) 緊急停止を解除したい。

緊急停止ボタンを押すと、タッチパネル（走者用、手持ち用）に「緊急停止中」が表示されトレッドミルが停止します。緊急停止を解除するまでトレッドミルは動きません。

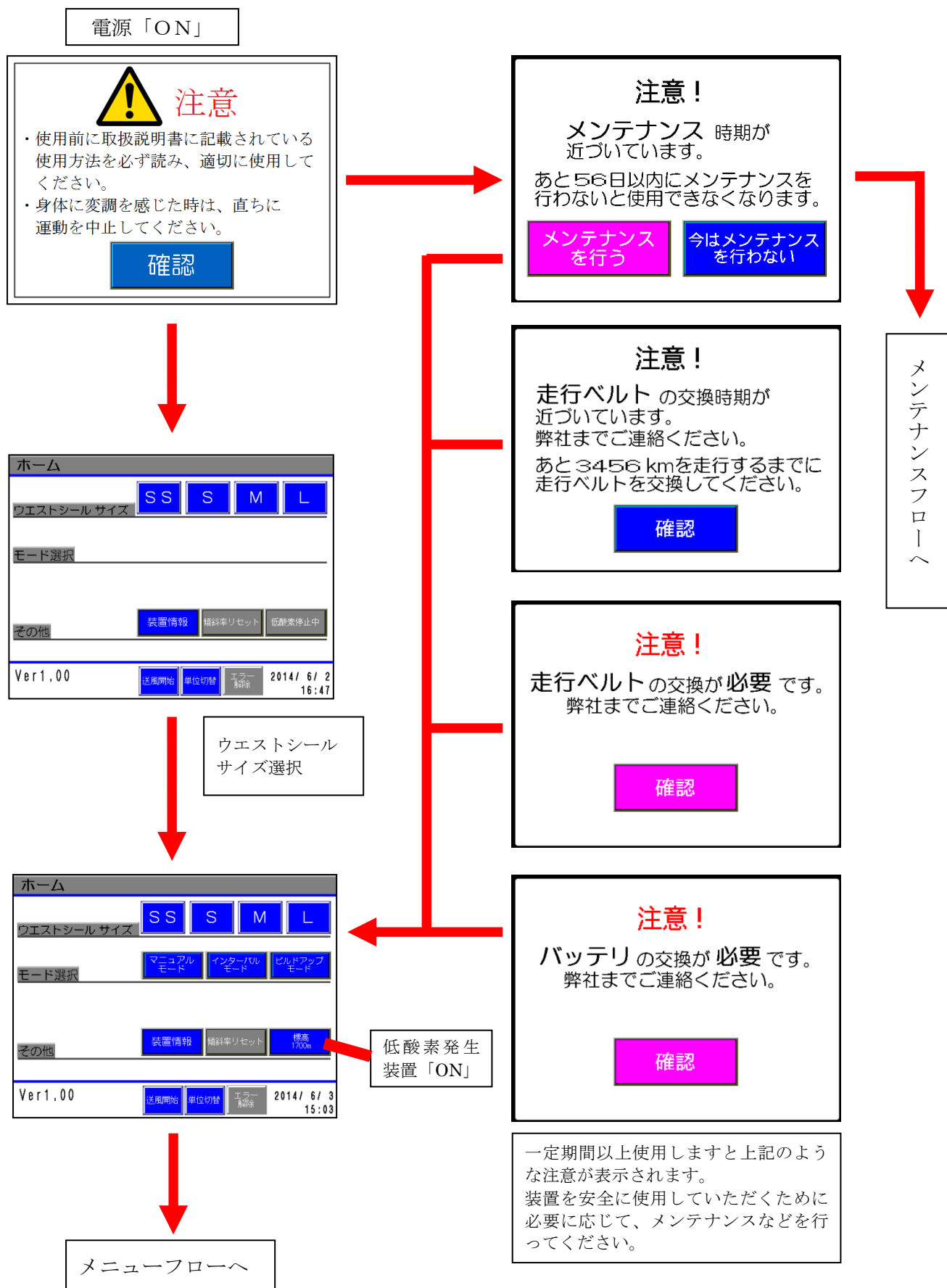
緊急停止の解除は、押した緊急停止ボタンを時計回りに回転させてください。ボタンが手前へ出て、タッチパネル（走者用、手持ち用）の「緊急停止中」表示が消え、緊急停止を解除します。



<タッチパネルの操作について>

(1) 基本フロー

※ソフトウェアのバージョンにより画面が異なることがあります。



メニューフロー：走者用タッチパネル

ホーム

ウエストシール サイズ **SS** **S** **M** **L**

モード選択 **マニュアル** **インターバル** **ビルドアップ**

その他 **装置情報** **傾斜率リセット** **標高 1700m**

Ver1.00 **送風開始** **単位切替** **エラー 解除** 2014/ 6/ 3 15:03

低酸素設定

標高 **1700** **2000** **2300** **2600**

低酸素強制換気間隔 (設定範囲：10~120) **30** 分

換気時間 (設定範囲：10~300) **60** 秒

換気開始CO2濃度 (設定範囲：1000~10000) **10000** ppm

ホームへ

Ver4.56 2012/ 1/26 15:56

低酸素発生装置を接続時

サイズ、メニュー選択

マニュアル

マニュアル

免荷率	速度	傾斜率	
設定値	設定値	設定値	
50%	30.0 km/時	15.0%	免荷開始

設定時間/経過時間 **60**分 **0**秒

距離 **00**km **000**m

ホーム 標高 DOWN 標高 UP 送風開始 単位切替 エラー 解除 2012/ 1/ 7 16:48

免荷率、速度、走行時間を設定。 ※ 免荷開始をタッチ。

マニュアル

免荷率	速度	傾斜率	
設定値	設定値	設定値	
50%	30.0 km/時	15.0%	免荷停止

設定時間/経過時間 **60**分 **0**秒

距離 **00**km **000**m

ホーム 標高 DOWN 標高 UP 送風開始 単位切替 エラー 解除 2012/ 1/ 7 16:48

免荷準備中

インターバル

インターバル

走行 距離 **1000** m
速度 **2**分 **0**秒 /km

レスト 距離 **1000** m (120 秒)
速度 **2**分 **0**秒 /km

本数 **50** 本

免荷率 **50%**

傾斜 **15%**

走行開始

ホーム 標高 DOWN 標高 UP 送風開始 単位切替 エラー 解除 2012/ 1/ 7 16:48

速度、距離、本数、免荷率、傾斜率を設定。走行開始をタッチ。

準備中

→ 免荷率調整中

→ 傾斜率調整中

停止

走行開始 **5** 秒前

標高 DOWN 標高 UP 送風開始

免荷率、傾斜率調整中

ビルドアップ

ビルドアップ

速度1 **30.0** km/時 **1000** m

速度2 **30.0** km/時 **1000** m

速度3 **30.0** km/時 **1000** m

速度4 **30.0** km/時 **1000** m

免荷率 **50%**

傾斜 **15%**

走行開始

ホーム 標高 DOWN 標高 UP 送風開始 単位切替 エラー 解除 2012/ 1/ 7 16:48

速度、距離、免荷率、傾斜率を設定。走行開始をタッチ。

準備中

→ 免荷率調整中

→ 傾斜率調整中

停止

走行開始 **5** 秒前

標高 DOWN 標高 UP 送風開始

免荷率、傾斜率調整中

※傾斜率の設定のみ、免荷完了後に操作可能です。

装置情報	
機器形式	: DH4- 30 BB
シリアル番号	: 123456789
ソフトウェアバージョン	: Ver1.05
製造年月	: 2014年 01月
前回メンテナンス年月日	: 2014年 01月 01日
前回走行ベルト交換年月	: 2014年 01月
走行ベルト交換まで残り距離	: 10000km
トレッドミル総駆動距離	: 010000km 000m

2014年 3月 5日(水) ホームへ

装置情報

マニュアル

免荷率	速度	傾斜率	免荷停止
設定値 50 %	設定値 30.0 km/時	現在値 15.0 %	
▲	FAST	▲	走行開始
▼	SLOW	▼	
設定時間		経過時間	
60分 00秒		60分 0秒	
距離 00km 000m			

ホーム 標高 DOWN 標高 UP 送風開始 単位切替 エラー 解除 2012/ 1/ 7 16:48

走行開始をタッチ ※
免荷停止をタッチ

マニュアル

免荷率	速度	傾斜率	走行中 (停止)
設定値 50 %	設定値 30.0 km/時	現在値 15.0 %	
▲	FAST	▲	
▼	SLOW	▼	
設定時間		経過時間	
60分 00秒		60分 0秒	
距離 00km 000m			

ホーム 標高 DOWN 標高 UP 送風開始 単位切替 エラー 解除 2012/ 1/ 7 16:48

走行中 ※

インターバルモード (走行中)

残り距離	停止	標高 DOWN 標高 UP 送風開始
1000 m		
走行本数		
1/50 本目		

走行中

インターバルモード (レスト)

残り距離	停止	標高 DOWN 標高 UP 送風開始
1000 m		
次走行本数		
1/50 本目		

レスト中

ビルドアップモード

残り距離	停止	標高 DOWN 標高 UP 送風開始
1000 m		
現速度	次速度	
30.0 km/時	30.0 km/時	

走行中

※傾斜率の設定は、一定以上免荷されると操作可能になります。

メニューフロー：手持ち用タッチパネル

ホーム

ウエストシールサイズ **S** **S** **M** **L**

モード選択 **マニュアル** **インターバル** **ビルドアップ**

その他 **装置情報** **傾斜率リセット** **標高 1700m**

Ver1.00 2014/ 6/ 3 15:01

低酸素設定

標高 **1700** **2000** **2300** **2600**

低酸素強制換気間隔 110~120 **30** 分

換気時間 110~300 **60** 秒

換気開始CO₂濃度 11000~10000 **10000** ppm

ホームへ

サイズ、メニュー選択

マニュアル

免荷率入力

免荷率	速度	傾斜率
設定値 50 %	設定値 30.0 km/時	現在値 15.0 %

送風 **免荷開始**

設定時間 経過時間 距離 **60**分 **0**秒 **RESET** **00**km**000**m **送風**

免荷率、速度、傾斜率、走行時間を設定。免荷開始をタッチ。

免荷停止 **免荷準備中** 免荷率調整中

インターバル

インターバルモード

走行	距離 1000 m	速度 30.0 km/時
レスト	距離 1000 m (3456 秒)	速度 30.0 km/時

本数 **50** 本 **送風** **免荷率** **50** % **傾斜** **15** % **送風開始** **走行開始**

速度、距離、本数、免荷率、傾斜率を設定。走行開始をタッチ。

免荷停止 **走行開始** 走行開始 免荷停止をタッチ

ビルドアップ

ビルドアップモード

速度1	30.0 km/時	1000 m
速度2	30.0 km/時	1000 m
速度3	30.0 km/時	1000 m
速度4	30.0 km/時	1000 m

免荷率 **50** % **傾斜** **15** % **送風** **送風開始** **走行開始**

速度、距離、免荷率、傾斜率を設定。走行開始をタッチ。

走行停止 走行中

走者用タッチパネル参照

装置情報

機器形式 : DH4-30RS
 シリアル番号 : 123456789
 ソフトウェアバージョン : Ver1.00
 製造年月 : 2014年04月

前回メンテナンス年月日 : 2014年04月01日
 前回走行ベルト交換年月 : 2014年04月
 走行ベルト交換まで残り距離 : 05000km
 トレッドミル総駆動距離 : 005000km 000m

2014年 6月 2日(月) **ホームへ**

装置情報

メンテナンスフロー

注意！

メンテナンスが**必要**です。
滑板の清掃、ベルトの張り調整、
装置全体の確認を行ってください。
メンテナンスが終わるまで本機は
動きません。

メンテナンス
を行う

注意！

メンテナンス時期が
近づいています。
あと56日以内にメンテナンスを
行わないと使用できなくなります。

メンテナンス
を行う

今はメンテナンス
を行わない

メンテナンス

メンテナンスは本機の電源を切ってから行ってください。

滑板の清掃	未完了
走行ベルトの張り調整	未完了
装置全体の確認	未完了
トレッドミル試運転	トレッドミル 試運転
すべて完了	未完了

メンテナンス

メンテナンスは本機の電源を切ってから行ってください。

滑板の清掃	完了
走行ベルトの張り調整	完了
装置全体の確認	完了
トレッドミル試運転	トレッドミル 試運転
すべて完了	完了

メンテナンス（確認）

すべての項目にチェックが入りました。

メンテナンス終了
(ホームへ)

メンテナンス画面に戻る

2011年12月 9日(金)

ホーム

ウエストシール サイズ SS S M L

モード選択 マニュアル
モード インターバル
モード ビルドアップ
モード

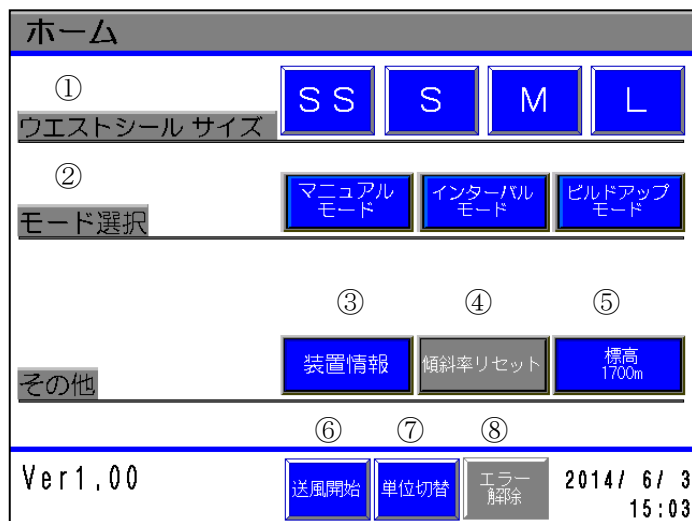
その他 装置情報 傾斜率リセット 標高
1700m

Ver1.00 送風開始 単位切替 エラー
解除 2014/ 6/ 3
15:03

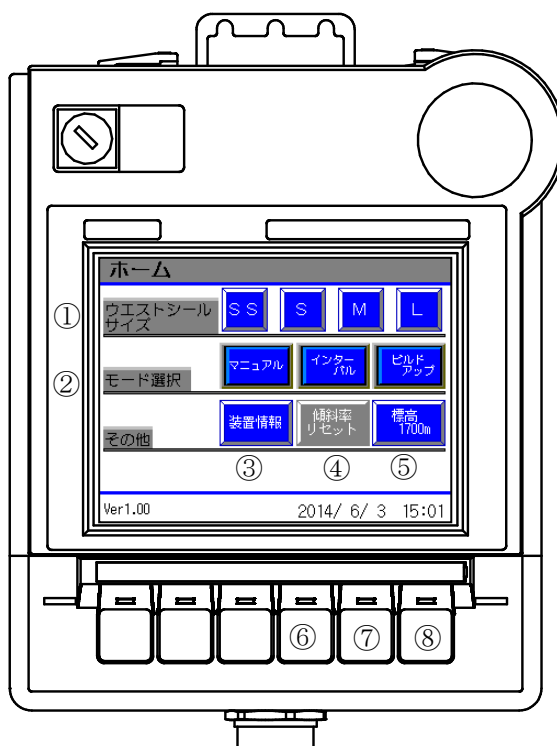
メニューフローへ

(2) ホーム画面について

「ホーム画面」は「ウエストシールサイズ」「モード選択」「装置情報」「標高」「傾斜率リセット」「送風開始」「単位切替」「エラー解除」ができます。



走者用タッチパネル



手持ち用タッチパネル

- ①ウエストシールサイズ・・・使用するウエストシールのサイズを選択します。
(サイズがL以上の場合もMを選択してください。)
- ②モード選択・・・・・・・・・・「マニュアルモード」「インターバルモード」「ビルドアップモード」を選択できます。各モードの詳細はP 19～24参照。
- ③装置情報・・・・・・・・・・本機の基本情報を確認する事が出来ます。
- ④傾斜率リセット・・・・・・・・・・停電などで停止した後、再稼働させる時に傾斜率をゼロに戻します。
- ⑤標高・・・・・・・・・・標高設定を行います。1700m、2000m、2300m、2600mの4点から選択してください。
※低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。
- ⑥送風開始・・・・・・・・・・冷却ファンを動かします。
- ⑦単位切替・・・・・・・・・・速度表示を「km/時」⇔「〇分〇秒/km」で変更できます。
- ⑧エラー解除・・・・・・・・・・本機の使用、設定中に起こったエラーを解除します。
※ウエストシールのサイズ選択を行わないとモード選択はできません。

●低酸素機能について

本機は、低酸素ユニット（低酸素カプセル、低酸素テント、低酸素発生装置）を接続することで、使用者の周囲（カプセル内部）を標高2600m相当の低酸素空間にする事が出来ます。それにより高地トレーニングに近い状態を再現できます。低酸素機能进行操作するには低酸素発生装置を接続した場合のみ可能になります。

詳細につきましては、低酸素発生装置の取扱説明書を参照してください。

(3) メニューフローについて

<マニュアルモード>

- ①免荷率・・・・・・・・・・免荷率を示します。免荷率ゲージは上が設定免荷率、下が現在免荷率を示します。免荷率が安定するとゲージの色がピンクに変わります。
中央の数字は、常に設定値を示します。
免荷率の変更は、上下ボタン (▲▼) で変更します。
0～50%まで設定可能です。(1%刻み)
- ②速度・・・・・・・・・・速度を示します。速度ゲージは上が設定速度、下が現在速度を示します。
中央の数字は、運動前は設定値。運動中は現在値を示します。
速度の変更は、上下ボタン (▲▼) で変更します。
2. 0～30. 0km/時 (30分0秒/km～2分0秒/km) まで設定可能です。(0. 1km/時刻み)
- ③傾斜率・・・・・・・・・・傾斜率を示します。傾斜率ゲージは現在値を示します。中央の数字は、現在値を示します。傾斜率の変更は、上下ボタン (▲▼) で変更します。
0. 0～15. 0%まで設定可能です。(0. 1%刻み)

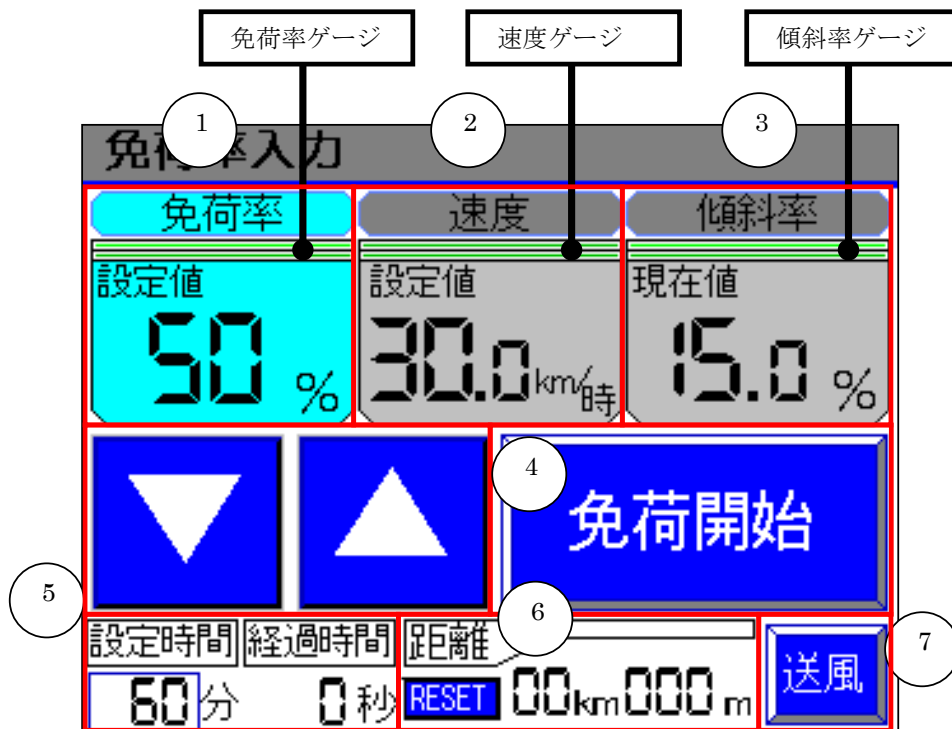
※手持ち用タッチパネルでは、免荷率、速度、傾斜率の変更は予めタッチパネル上の各々をタッチしてください。入力可能な項目は水色に変化します。ただし、速度、傾斜率の設定は、始めに免荷が行われないと動かすことが出来ません。

- ④免荷開始ボタン・・・・・・・・免荷を行います。免荷開始を行うと、走行開始のボタンが現れます。
「免荷開始」⇔「免荷停止/走行開始」⇔「走行中(停止)」

※圧力ジャケット内が一定以上の圧力になるまでは「免荷停止/免荷準備中」と表示され、走行はできません。「免荷停止/走行開始」と変わるまでお待ちください。

- ⑤設定時間・経過時間・・・・時間設定を行えます。経過時間は使用者が走った時間を示します。
経過時間が設定時間に達すると、トレッドミルは止まります。
□内の数字をタッチしてください。1～120分まで設定可能です。
※手持ち用タッチパネルは経過時間のみ表示されます。
- ⑥距離・RESET・・・・・・・・走行距離を示します。RESET ボタンを2秒間押し続けると距離表示がゼロに戻ります。99km999mまで表示可能です。
- ⑦メニューボタン・・・・・・・・左より順に「ホーム」「標高 DOWN」「標高 UP」「送風開始」「単位切替」「エラー解除」です。
「ホーム」はホーム画面に戻ります。
「標高 DOWN」は標高設定を1段階(300m)低くします。
「標高 UP」は標高を高くします。
「送風開始」は圧力ジャケット内の空冷ファンを始動させます。
「単位切替」は速度表示を「km/時」⇔「○分○秒/km」の表示を切り替えが出来ます。
「エラー解除」は本機使用中に起こったエラーを解除します。
※標高変更は低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。

- ⑧日付・・・・・・・・・・日付、時間を表示します。



手持ち用タッチパネル

<インターバルモード> ※本モード中は免荷率、傾斜率が一定になります。

- ①走行・・・・・・・・・・走行時（練習時）の距離と速度を設定します。
距離は50～9999mまで設定可能です。
速度は2.0～30.0km/時（30分0秒/km～2分0秒/km）まで設定可能です。
※速度の単位の切り替えはメニューボタンの「単位切替」を押してください。
- ②レスト・・・・・・・・・・レスト時の距離と速度を設定します。設定出来る内容は①走行と同じです。
距離と速度からレスト時間を（ ）で表示しています。
※レスト中も「傾斜率」は同じです。
- ③本数・・・・・・・・・・練習数を設定します。1～99本まで設定が可能です。
- ④免荷率・・・・・・・・・・免荷率を設定します。0～50%まで設定が可能です。
- ⑤傾斜・・・・・・・・・・傾斜率を設定します。0～15%まで設定可能です。
- ⑥メニューボタン・・・・左より順に「ホーム」「標高 DOWN」「標高 UP」「送風開始」「単位切替」「エラー解除」です。
「ホーム」はホーム画面に戻ります。
「標高 DOWN」は標高を低くします。
「標高 UP」は標高を高くします。
「送風開始」は圧力ジャケット内の空冷ファンを始動させます。
「単位切替」は速度表示を「km/時」⇔「〇分〇秒/km」の2種類切り替えができます。
「エラー解除」は本機使用中に起こったエラーを解除します。
※標高変更は低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。
- ⑦走行開始・・・・・・・・・・練習を開始します。「免荷率」「傾斜率」の順で調整が始まります。
5秒前から走行開始のカウントダウンが始まります。
- ⑧日付・・・・・・・・・・日付、時間を表示します。
- ⑨メニュー表示・・・・走行中は「残り距離」と「走行本数」を示します。
レスト中は「残り距離」と「次走行本数」を示します。
※「走行中」「レスト中」は設定値の変更は出来ません。
- ⑩停止・・・・・・・・・・インターバルモードを停止させます。
- ⑪走行バー・・・・・・・・・・走行時、レスト時の走行距離を示しています。
- ⑫標高、送風開始・・・・圧力ジャケット内の空冷ファンを始動させます。標高の変更が出来ます。
※標高変更は低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。

インターバル

1	走行	距離	1000	m	
		速度	30.0	km/時	
2	レスト	距離	1000	m (120 秒)	
		速度	30.0	km/時	
3	本数	50	本	7 走行開始	
4	免荷率	50	%		
5	傾斜	15	%		
6	ホーム	標高 DOWN	標高 UP	送風開始	単位切替
				エラー解除	2012/ 1 / 7 16:48
					8

※数値入力は□内の数字をタッチしてください。テンキーが立ち上がります。

数値を入力後、「決定」キーを押してください。「決定」キーが押されないと設定値が確定しません。

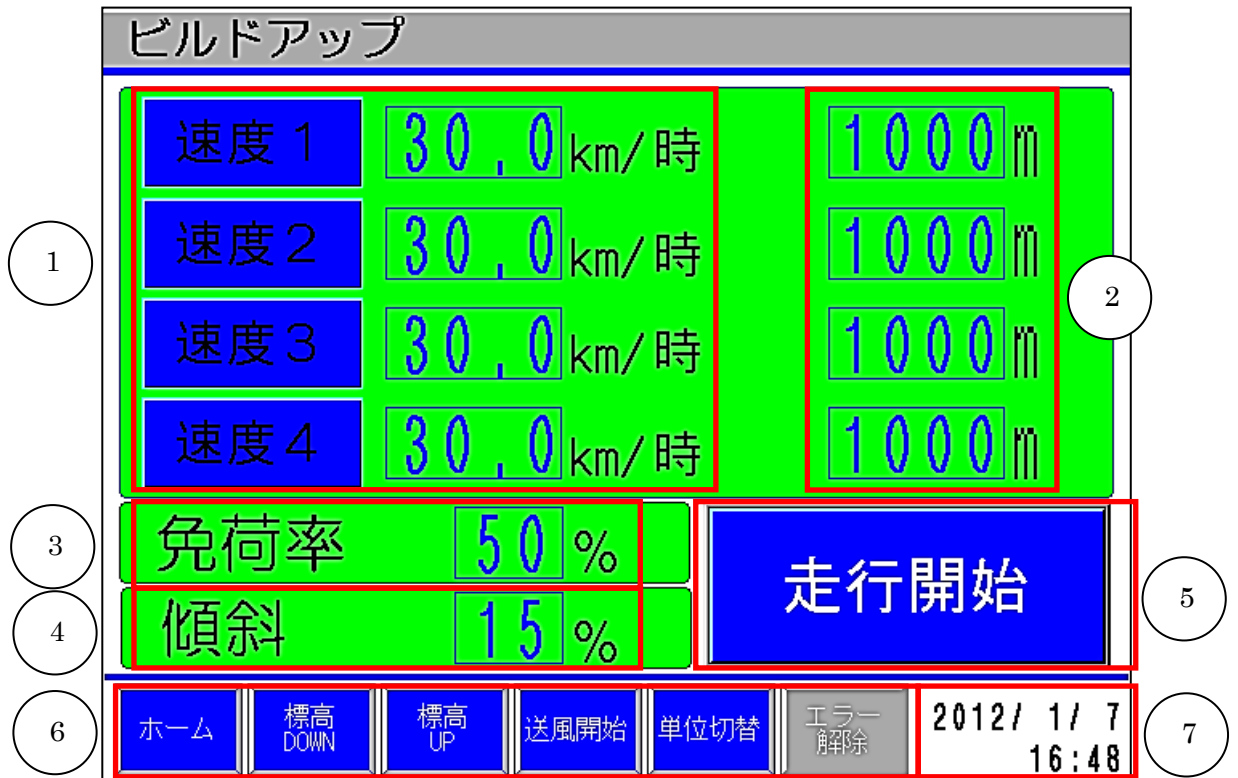
また、設定不可能な値の入力は出来ません。

インターバルモード (走行中)

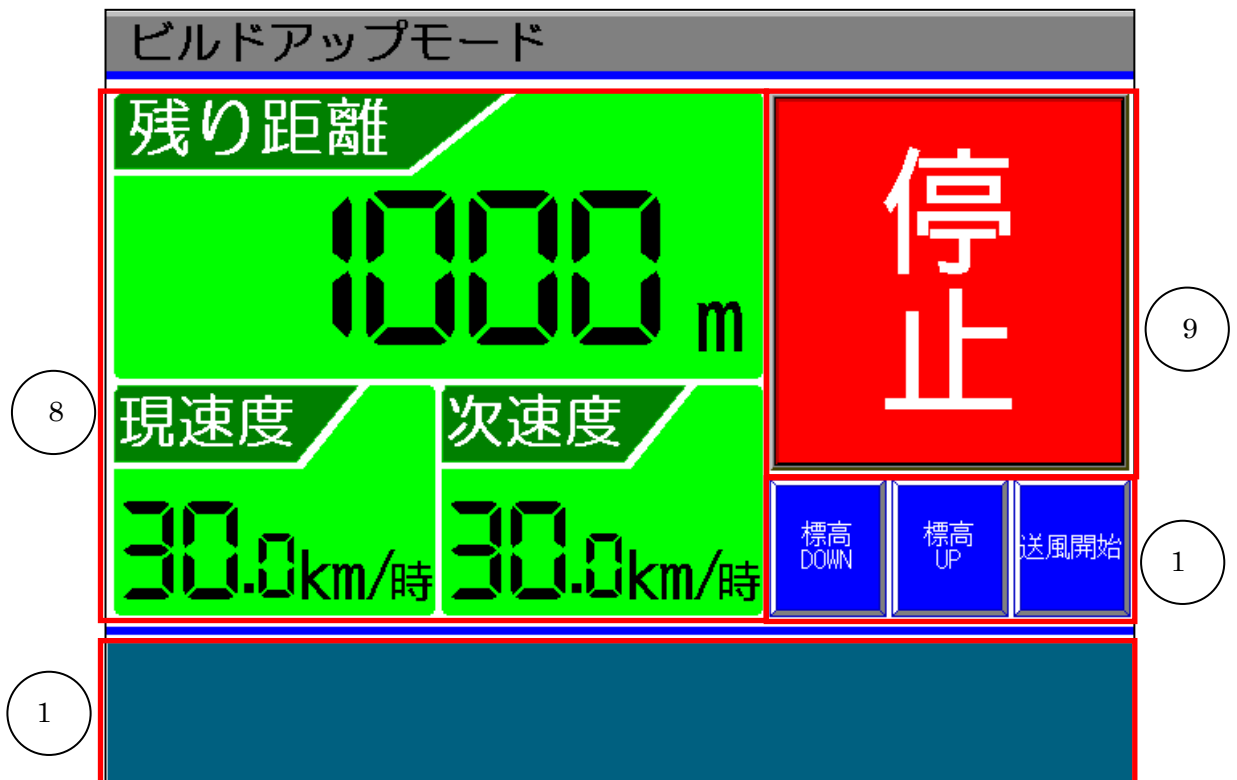
9	残り距離	1000	m	10 停止
	走行本数	1 / 50	本目	
		標高 DOWN	標高 UP	送風開始
11	12			

<ビルドアップモード> ※本モード中は免荷率、傾斜率が一定になります。

- ①速度・・・・・・・・・・速度を設定します。4段階の設定が可能です。
速度ボタンを押すと設定が可能になります。
2. 0～30. 0 km/時（30分0秒/km～2分0秒/km）まで設定が可能です。
- ②距離・・・・・・・・・・距離を設定します。4段階の設定が可能です。
50～5000mまで設定が可能です。
- ③免荷率・・・・・・・・・・免荷率は0～50%まで設定可能です。
- ④傾斜・・・・・・・・・・傾斜角を設定します。0～15%まで設定可能です。
- ⑤走行開始・・・・・・・・・・練習を開始します。「免荷率」「傾斜率」の順で調整が始まります。
5秒前から走行開始のカウントダウンが始まります。
- ⑥メニューボタン・・・・左より順に「ホーム」「標高 DOWN」「標高 UP」「送風開始」「単位切替」「エラー解除」です。
「ホーム」はホーム画面に戻ります。
「標高 DOWN」は標高を低くします。
「標高 UP」は標高を高くします。
「送風開始」は圧力ジャケット内の空冷ファンを始動させます。
「単位切替」は速度表示を「km/時」⇔「〇分〇秒/km」の2種類切り替えができます。
「エラー解除」は本機使用中に起こったエラーを解除します。
※標高変更は低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。
- ⑦日付・・・・・・・・・・日付、時間を表示します。
- ⑧メニュー表示・・・・「残り距離」「現速度」「次速度」を示します。
現速度が設定数までになると、次速度は0 km/時 がされます。
※「走行中」は設定値の変更は出来ません。
- ⑨停止・・・・・・・・・・ビルドアップモードを停止させます。
- ⑩送風開始、標高・・・・圧力ジャケット内の空冷ファンを始動させます。標高の変更が出来ます。
※標高変更は低酸素発生装置を接続した場合のみ操作可能になります。
- ⑪走行バー・・・・・・・・・・走行時の走行距離を示しています。



※数値の入力は、各々の項目の口内の数字をタッチするとテンキーが立ち上がります。
 数値を入力後、「決定」キーを押してください。「決定」キーを押されないと設定値が確定しません。
 また、設定不可能な値の入力は出来ません。



(4) その他の画面について

以下の画面は走者用、手持ち用タッチパネルに共通の画面です。

①装置情報を確認

「ホーム」画面で「装置情報」をタッチすると装置情報の画面へ移動します。

「機器形式」・「シリアル番号」・「ソフトウェアバージョン」・「製造年月」・「前回メンテナンス年月日」・「前回走行ベルト交換年月」・「走行ベルト交換まで残り距離」・「トレッドミル総駆動距離」の8項目が確認できます。戻る時は、メニューボタンの「ホーム」で戻ります。

装置情報	
機器形式	: DH4- 30 BB
シリアル番号	: 123456789
ソフトウェアバージョン	: Ver1.05
製造年月	: 2014年 01月
前回メンテナンス年月日	: 2014年 01月 01日
前回走行ベルト交換年月	: 2014年 01月
走行ベルト交換まで残り距離	: 10000km
トレッドミル総駆動距離	: 010000km 000m

2014年 3月 5日(水) ホームへ

※この画面にある数字はサンプルとして設定した値です。

②メンテナンス時期が近い時

購入から11ヶ月目または、前回のメンテナンス時から11ヵ月目でメンテナンス注意のために「注意」の画面が表示されます。「今はメンテナンスを行わない」で「ホーム」へ移動します。「メンテナンスを行う」で「メンテナンス画面」へ移動します。メンテナンスを行わないまま12ヶ月目に達すると、メンテナンスのための「注意」画面（下図右）が表示されます。この時はメンテナンスが行われないと「ホーム」へ移動できません。

注意！

メンテナンス 時期が
近づいています。

あと56日以内にメンテナンスを行わないと使用できなくなります。

メンテナンス
を行う 今はメンテナンス
を行わない

注意！

メンテナンス が必要 です。

滑板の清掃、ベルトの張り調整、装置全体の確認を行ってください。メンテナンスが終わるまで本機は動きません。

メンテナンス
を行う

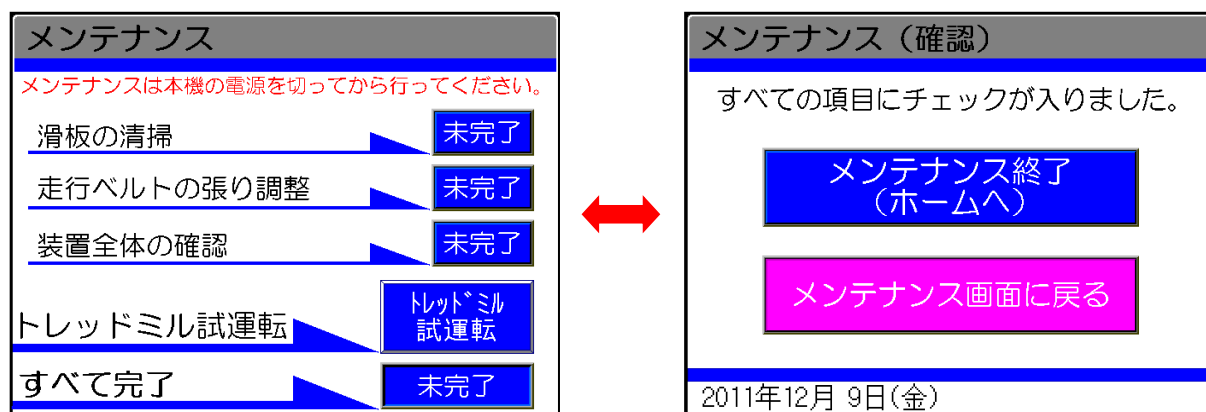
③メンテナンス

メンテナンス画面では、メンテナンス内容が記載されています。

滑板の清掃・走行ベルトの張り調整・装置全体の確認を行い、それぞれ「未完了」ボタンをタッチして、「完了」にしてください。全てのチェックが完了し、「トレッドミル試運転」を行うとタッチパネル一番下の「未完了」のボタンが「完了」に変わるので、「完了」をタッチします。

その後、メンテナンスの再確認を行い、やり直す場合は「メンテナンスメニューへ」をタッチ、メンテナンスを終了する場合は、「メンテナンス終了（ホームへ）」をタッチしてください。

※本機のメンテナンス方法は「メンテナンスについて（P40～42）」を参照してください。



④走行ベルトの交換

「走行ベルト交換まで残り距離」が1,000キロ未満になると、走行ベルト交換の時期を知らせる「注意」画面が表示されます。「走行ベルト交換まで残り距離」が0キロになると、走行ベルト交換の「注意」画面が表示されます。「確認」をタッチすると「ホーム」へ移動します。

△注意 走行ベルト交換時には、弊社（または販売店）までご連絡ください。走行ベルトの摩耗が激しいとモータや制御機器に悪影響を及ぼす可能性がありますので、早めの交換をお勧めします。

注意！

走行ベルトの交換時期が近づいています。
弊社までご連絡ください。
あと3456 kmを走行するまでに走行ベルトを交換してください。

確認

注意！

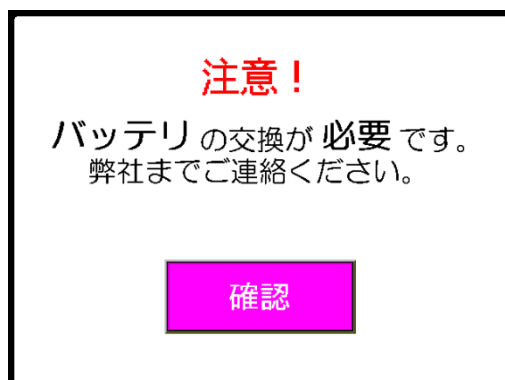
走行ベルトの交換が必要です。
弊社までご連絡ください。

確認

⑤バッテリーの交換

タッチパネルのバッテリーの交換が必要になった時に表示されます。「確認」をタッチすると「ホーム」へ移動します。

△ 注意 バッテリーの交換をされないと装置の時計機能が正常に動作せず、一部の機能に不具合が生じます。メンテナンス時期の表示にも関わってきますので、バッテリー交換の注意が表示された時は早めの交換をお勧めします。



(5) エラー画面一覧

前述の他に状況に応じて、注意喚起のメッセージが手持ち用タッチパネル、走者用タッチパネルの両方に表示され、ブザーによる警告音が鳴ります。表示によって対応が異なりますので、よく読んでください。

「確認」ボタンの無いエラー表示は「エラー解除」で表示を消すことができます。

「緊急停止中」のみ緊急停止ボタンを解除しない限り、エラー表示が消えることはありません。

また、エラーが表示された時、免荷、トレッドミル、傾斜、送風、低酸素機能が停止する事があります。この時、「確認」「エラー解除」で表示を消したとしても、エラーの原因を取り除かないと再度、同じエラーが表示されます。原因を取り除いてもエラーが表示される場合は、弊社（または販売店）までご連絡ください。

エラー解除を行ったとしても傾斜は任意の角度で停止したままになります。一度、ホーム画面に戻って傾斜率リセットを行ってください。

※エラー発生時に注意喚起のメッセージの右下に「エラーNo:〇-〇〇〇」と表示されます。

お問い合わせの時は、エラーNo:も一緒にご連絡ください。

<p>昇降枠ロックエラー 昇降枠がロックされていません。</p>	<p>a. 昇降枠ロックエラー① 昇降枠のロックが正しく行われていません。左右の昇降ランプが点灯するの を確認してください。 昇降枠のロックが行われていない間は常に表示されます。この時は免荷、ト レッドミル、傾斜を動かすことは出来ません。</p>
<p>昇降枠ロックエラー 昇降枠のロックが解除された為、運転を停止しました。 確認</p>	<p>b. 昇降枠ロックエラー② 運転中に昇降枠のロックが外れた場合に表示されます。免荷、トレッドミル、 傾斜が停止しますので、昇降枠をロックし直してください。昇降枠のロック を確認した後、「確認」をタッチしてください。</p>
<p>緊急停止中 緊急停止ボタンを解除するまで動きません</p>	<p>c. 緊急停止中 緊急停止ボタンを押したときに表示されます。この表示があるときは、免荷、 トレッドミル、傾斜が停止します。緊急停止ボタンを解除しない限り装置を 動かすことはできません。</p>
<p>トレッドミル過負荷 トレッドミルに過大な負荷がかかりました</p>	<p>d. トレッドミル過負荷 トレッドミルに異常な負荷がかかっている時に表示されます。免荷、トレッ ドミル、傾斜が停止します。一度、メンテナンスを行ってください。メンテ ナンス後も表示が出る時は、弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>
<p>免荷失敗 ウエストシールの取り付けを確認してください。</p>	<p>e. 免荷失敗 ウエストシールの取り付けミスなどで免荷が出来ていません。 ウエストシールの取り付け、圧力ジャケットの破れや固定部からの 空気漏れを確認してください。</p>
<p>免荷システム異常 免荷システムに異常が発生しました。</p>	<p>f. 免荷システム異常 免荷システムの異常を感知した際に表示されます。免荷、トレッドミル、傾 斜が停止します。装置の使用を中断し、圧力ジャケットに穴が開いていない 事、ウエストシールがしっかりと取り付いている事のチェックしてくださ い。それらに問題がなく、問題が解決されない時は弊社（または販売店）ま でご連絡ください。</p>
<p>傾斜システム異常 機器の異常を感知しました</p>	<p>g. 傾斜システム異常 傾斜システムの異常を感知した際に表示されます。免荷、トレッドミル、傾 斜が停止します。傾斜用シリンダの動きを止めている要因がないか確認して ください。それらに問題がなく、問題が解決されない時は弊社（または販売 店）までご連絡ください。</p>
<p>送風システム異常 機器の異常を感知しました</p>	<p>h. 送風システム異常 送風システムに異常が発生した時に表示されます。免荷、トレッドミル、傾 斜が停止します。弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>
<p>機器異常 機器の異常を感知しました</p>	<p>i. 機器異常 制御系機器に異常を感知した際に表示されます。免荷、トレッドミル、傾斜 が停止します。本機の使用を中止し、弊社（または販売店）までご連絡く ださい。</p>

	<p>j. 酸素装置異常</p> <p>低酸素発生装置に何らかの異常が発生した時に表示されます。免荷、トレッドミル、傾斜が停止します。本機の使用を中止し、弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>
	<p>k. 圧力ジャケットの膨らみ不足</p> <p>免荷が出来ていない状態で、「トレッドミル運転」をタッチすると表示されます。解除する時は「確認」をタッチしてください。</p>
	<p>l. 圧力不足</p> <p>運転中に膨らみが不足した状態が一定時間続いた時に表示されます。（トレッドミル、傾斜が止まります）ウエストシールの取り付け、圧力ジャケットの破れや固定部からの空気漏れを確認してください。</p>
	<p>m. 免荷率急低下</p> <p>運転中に免荷率が急激に低下した時に表示されます。ウエストシールとウエストリングの接合が急に外れた時などに表示されません。（トレッドミル、傾斜が停止します）ウエストシールの取り付け、圧力ジャケットの破れや固定部からの空気漏れを確認してください。</p>
	<p>n. 設定値エラー①</p> <p>入力値が入力可能桁数をオーバーした時に表示されます。入力値を確認してください。</p>
	<p>o. 設定値エラー②</p> <p>入力値が設定値の範囲に対して過不足があれば、表示されます。入力値を確認してください。</p>

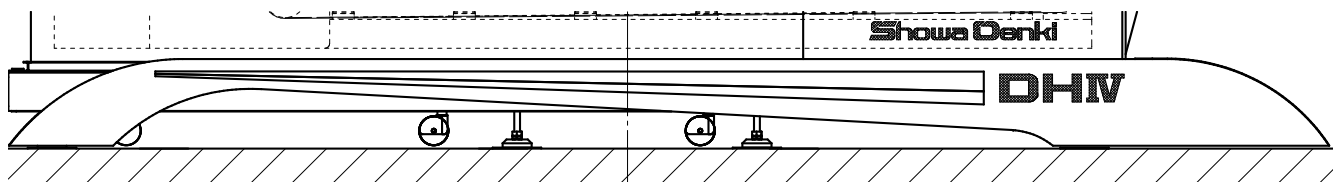
5. 移動・設置について

(1) 移動

本機を移動させる際は、以下の手順に従ってください。

※移動前に、キャスターに変形・破損等が無いか確認してください。

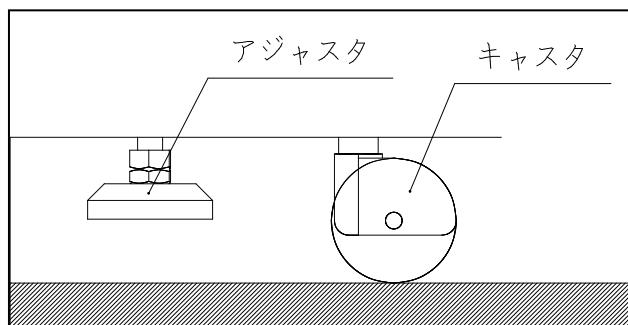
①化粧カバーを外す。



左右18本のボルトを外して、左右の化粧カバーを外します。

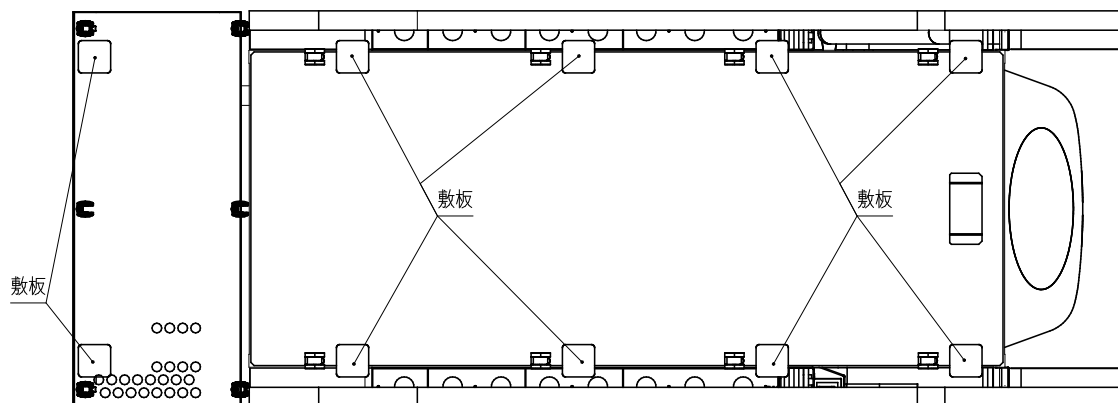
②本体及び、制御ボックスのアジャスタの設置を解除する。

10ヶ所（本体8か所、制御ボックス2か所）のアジャスタを解除してキャスターで接地してください。



③敷き板を抜く。

アジャスタの下に敷いてある、敷き板10枚を取り外してください。



⑥所定の場所に移動する。

安定して移動させる為に3人以上で本機を移動させてください。

低酸素発生装置とコンプレッサーは各々1～2人で移動させてください。

※低酸素発生装置とコンプレッサーのコードが引っ張られないように一緒に動かしてください。

※制御ボックスで本体を引っ張るように移動させないでください。故障の原因となります。

(2) 設置

移動させる手順と逆の手順で設置してください。

①敷き板を置く。

アジャスタの設置前に敷き板を置いてください。

②本体及び、制御ボックスのアジャスタを固定する。

本体及び、制御ボックスのアジャスタを固定してください。(10ヶ所)

この時、床面との距離を75～80mmにしてください。

③化粧カバーを設置する。

本体左右の化粧カバーを設置してください。

6. 緊急時の脱出について

本機は、トレッドミルの運転、免荷による免荷、傾斜を3相AC200Vの電源で行っています。

そのため、本機の使用中に停電などが起こった場合、動かすことが出来なくなります。

緊急時は、慌てず落ち着いて、ウエストシールとバックルを外して、昇降枠を降ろしてください。

※本機から出る時は、P. 17～P. 18を参照ください。

※傾斜が付いている状態で本機が停止した場合、傾斜率はそのままです。その場合は昇降枠は一番下まで降ろすことが来ません。傾斜が付いている場合は、ウエストリングに腰掛けて脱出してください。

7. トレーニングについて

本機はトレーニングを支援する機器です。トレーニングされる方の体力、年齢、運動経験などには個人差がありますので、危険が無い範囲でのトレーニングをお願いします。

また、リハビリテーションをされる場合は医師・トレーナの立会いのもとでトレーニングを行ってください。

△注意 久しく運動をしていない方にとって急な負荷の変動は、心臓等に負担をかけ、大変危険ですので医師・トレーナの指導のもとで免荷率・走行速度の設定を行ってください。

8. メンテナンスについて

本機は体重を免荷させてトレーニングをするため、トレッドミルを圧力ジャケットで覆っています。お手入れの際には圧力ジャケットを取り外してください。

※お手入れ（走行ベルトの張り・圧力ジャケット内の清掃・装置全体の確認）は一度に行われる事をお勧めします。

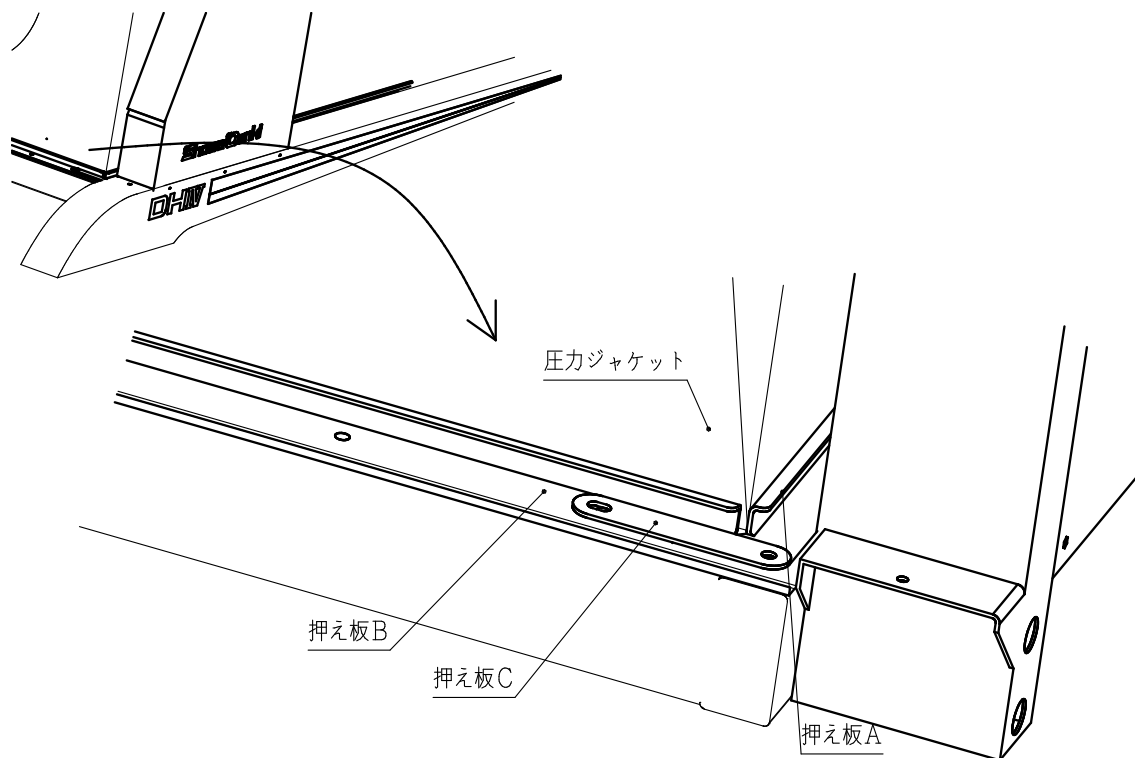
△注意 メンテナンス・お手入れの時は、本機の電源を切ってから行ってください。感電・巻き込みなどの原因となります。

<圧力ジャケットの取り外し方>

①「押え板 A・B・C」を外す。

※ボルトを無くさないように気を付けてください。

※押え板で圧力ジャケットに傷を付けないように注意してください。



トレッドミル後方図（支柱内部イメージ図）

②圧力ジャケットを取り外す。

<圧力ジャケットの取り付け方>

②、①の手順で圧力ジャケットを取り付けてください。

※取り付けの際には、前後・穴位置を間違わないように注意してください。

△注意 押え板で圧力ジャケットをしっかりと押さえてください。ボルトの締め付けが弱いと免荷時に空気漏れが起こり、故障の原因となります。

<走行ベルトの張り・偏り調整について>

走行ベルトの張りが緩いと運動中に走行ベルトがスリップ（モータは動くが走行ベルトは止まってしまう症状）して、大変危険です。逆に走行ベルトを張りすぎると、前後のローラに無理な力がかかったり、モータなどに負担がかかり、故障の原因となります。

下記の方法で適切な張り調整を行ってください。

△注意 走行ベルトが動いている状態での調整は危険ですので、トレッドミルを止めてから走行ベルトの調整をしてください。

●走行ベルトの張り調整

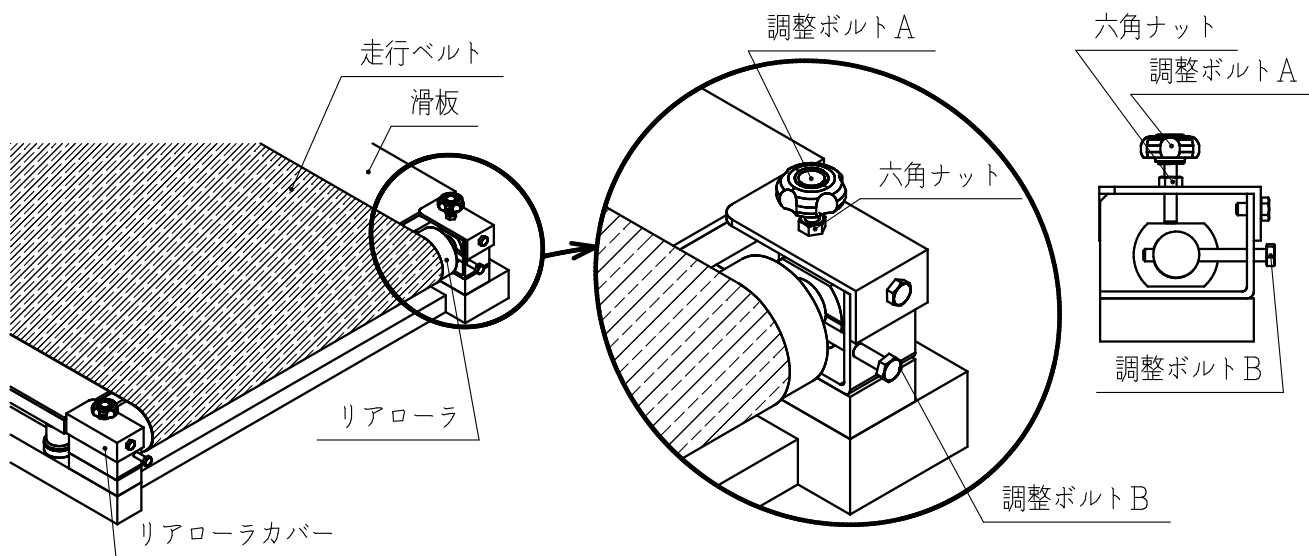
①六角ナットをスパナで緩めてから、調節ボルト A を緩めます。

②トレッドミル後方にある走行ベルト調節ボルト B を回します。

※調整ボルト B を回す時は90度ごとに回してください。

①走行ベルトが緩んでいる時 左右の調整ボルト B を右へ回してください。	②走行ベルトが張りすぎている時 左右の調整ボルト B を左へ回してください。
③走行ベルトが右による場合 左をゆるめて、右を締めてください。	④走行ベルトが左による場合 右をゆるめて、左を締めてください。

③調整ボルト A を締めてから、六角ナットを締めます。



●適度な走行ベルトの張り

走行ベルトの適度な張りの目安は、走行ベルト中ほどの左右片方の端を軽くつまみ上げ、4～6cm持ち上がる状態です。

●左右の偏りを調整するとき

- ①走行ベルトが右側（左側）に偏った時は、右側（左側）の調整ボルトBを締めます。
- ②人が乗っていない状態で電源を入れ、メンテナンス画面でトレッドミルを運転させます。
- ③走行ベルトが中央に戻ってきます。
※走行ベルトが戻ってこない時は、調整ボルトをさらに締めてください。
- ④走行ベルトが中央に戻ってきましたら、トレッドミルを止めて調整ボルトBを少し緩めます。
※ここで調節ボルトを緩めないとベルトが反対側まで偏ってしまいます。
- ⑤再度、トレッドミルを運転させて、走行ベルトが中央で安定している事を確認してください。
※まだ走行ベルトが偏るようでしたら、再度、はじめから調節してください。
※メンテナンス時のベルト調整、試運転は圧力ジャケットを取り外して行ってください。

<圧力ジャケット内の清掃について>

メンテナンス時期または、定期的に圧力ジャケット内の清掃をしてください。

※本機の滑板は潤滑剤が含浸されています。滑板の清掃の後に潤滑剤を塗布する必要はありません。

※トレッドミル後部に削れたゴミが溜まることがあります。靴底の摩耗によるものです。

<装置全体の手入れについて>

本体・圧力ジャケットの汚れが落ちない時は中性洗剤を薄めて拭き取ってください。

△注意 制御ボックスにはスイッチ・電子基盤・インバータ等が、フロントカバーにはモータ・送風ファン・傾斜用シリンダが内蔵されています。水を浴びせて装置全体を洗うようなことはしないでください。

<圧力ジャケットについて>

- ①水拭き（薄めた中性洗剤）で汚れを落とします。
- ②中性洗剤を使用した場合、水拭きにて中性洗剤を落としてください。
- ③乾燥した布で水分をふき取ります。

△注意 透明部分にはシンナー等は使用しないでください。シンナーの跡が残り、透明部分がくすみます。圧力ジャケットはアルコール及び有機溶剤などで拭かないでください。生地が破れたり劣化する恐れがあります。

<ウエストシールについて>

●スカートを洗濯する時

水、ぬるま湯もしくは薄めた中性洗剤を用いて手洗いで洗ってください。洗った後は、陰干ししてください。天日干しを繰り返すと、生地が劣化する恐れがあります。

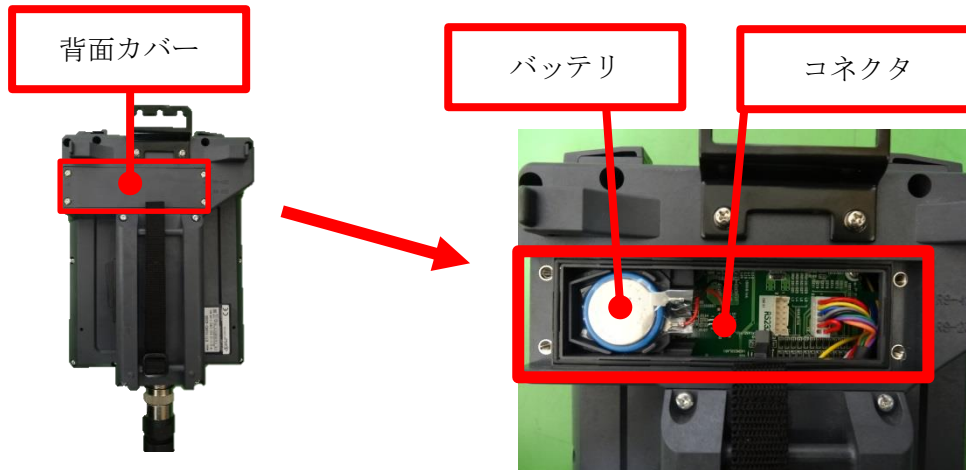
●スパッツを洗濯する時

水、ぬるま湯もしくは薄めた中性洗剤を用いて手洗いで洗ってください。

<バッテリーの交換手順>

①本機の電源を「OFF」にします。

②手持ち用タッチパネルの背面カバーのボルト4本を外して、背面カバーを取り外してください。



③旧バッテリーを外してください。

④コネクタを抜いて、新バッテリーのコネクタを30秒以内に差し込んでください。

⑤背面カバーを取り付けて、ボルトを締付けてください。

締付けトルク：36～48 [N・cm]

⚠ 注意 コネクタを抜く際、バッテリーから出ているコードを引っ張らないでコネクタを持って抜いてください。コネクタが抜けずにコードが断線することがあります。

9. 消耗品、定期点検項目について

本機を末長く使用していただく為に、定期点検を推奨いたします。

消耗部品、メンテナンス部品の購入や交換のご依頼の際は、本機の購入先か裏表紙に記載ある弊社（または販売店）にご連絡ください。

定期点検

項目	内容	期間
走行ベルト	張り調整、片寄り、亀裂	3か月～6か月
圧力ジャケット	破れ、亀裂	3か月～6か月
圧力ジャケット内	清掃	1か月～3ヶ月
ウエストシール	ホツレ・破損	3か月～6か月
タッチパネル	操作・反応	12か月～24か月

※定期点検の期間は、使用頻度により変動します。

メンテナンス部品

下記の部品は、メーカーによる交換が必要になります。

部品名	交換目安	
走行ベルト	10,000km ※交換時期がきましたら表示されます。	
駆動ベルト	10,000km	
軸受	(ピロー)	約12,000時間
	(従動ローラ側)	
	(トレッドミル用モータ)	
	(送風ファン)	
圧力ジャケット	24ヶ月～48ヶ月	

※使用頻度や環境により寿命が短くなる可能性があります。

消耗品

品番	形式	部品名	交換目安
10012000	SEDH-3S	ウエストシール (スパッツ 2枚 スカート 1枚)	6～12か月 ※使用頻度により変動します ホツレや破損があれば 交換してください。
10012001	SEDH-SS		
10012002	SEDH-S		
10012003	SEDH-M		
10012004	SEDH-L		
10012005	SEDH-LL		
10012006	SEDH-3L		
10012007	SEDH-4L		
10012008	SEDH-K1		
10012009	SEDH-K2		
10012010	SEDH-K3		
10012011	SEDH-K4	スカート 1枚	
10012012	SKDH-3S		
10012013	SKDH-SS		
10012014	SKDH-S		
10012015	SKDH-M		
10012016	SKDH-L		
10012017	SKDH-LL		
10012018	SKDH-3L		
10012019	SKDH-4L		
10012020	SKDH-K1		
10012021	SKDH-K2		
10012022	SKDH-K3	スパッツ1枚	
10012023	SKDH-K4		
10012024	SPDH-3S		
10012025	SPDH-SS		
10012026	SPDH-S		
10012027	SPDH-M		
10012028	SPDH-L		
10012029	SPDH-LL		
10012030	SPDH-3L		
10012031	SPDH-4L		
10012032	SPDH-K1		
10012033	SPDH-K2		
10012034	SPDH-K3		
10012035	SPDH-K4	バッテリー	約5年
97060006	GT11-50BAT		

10. トラブルシューティング

下記のような症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記のような点をお調べください。

下記のチェックを行っても、改善されない時は弊社までご連絡ください。

症状	原因	処置
タッチパネルが表示されない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグの差し込みを確認してください
	制御ボックスの電源が入っていない	電源スイッチが「ON」であることを確認してください
	コードが抜けている	制御ボックス側又は、手持ち用タッチパネル側のコードコネクタを正しく接続してください
	バックライトが切れている	弊社までご連絡ください (または販売店)
タッチパネルが動かない	タッチパネルの寿命	弊社までご連絡ください (または販売店)
メンテナンス画面から進めない	メンテナンス時期になっている	メンテナンスを行ってください (P. 24、P. 40～P. 43参照)
「昇降枠ロックエラー」が消えない	昇降枠が正しくセットされていない	昇降枠を正しくセットしてください (左右のランプが光ります)
トレッドミルが動かない	緊急停止ボタンが押されている	緊急停止ボタンを解除してください。
	免荷が始まる前に「トレッドミル運転」をタッチしている	「免荷準備中」が消えるまでお待ちください
	残り時間がゼロになっている	マニュアルモードの設定時間を再入力してください
	各種システム異常が発生した (免荷、傾斜、送風、機器)	弊社までご連絡ください (または販売店)
トレッドミルが急に止まった	緊急停止ボタンを押した	緊急停止ボタンを解除してください
	使用中に昇降枠のロックが外れた	本機の使用を一時中断し、昇降枠の調節を行ってください
	トレッドミルに過負荷がかかっている	メンテナンスを行いベルトの張り、偏り、滑板の状態をチェックしてください
	「免荷率急低下」が表示された	ウエストリングとウエストシールをしっかりとお接合しなおしてください
	各種システム異常が発生した (免荷、傾斜、送風、機器)	弊社までご連絡ください (または販売店)

圧力ジャケットが膨らまない	「免荷失敗」が表示された	ウエストシールがしっかりとウエストリングに固定されていることを確認してください
	本体と圧力ジャケットの接合面から空気が漏れている	押え板 A・B・C の固定ボルトが緩んでいないか確認してください
	吸気口が閉ざされている	制御ボックスの下に吸気口があります。吸気口を塞いでいるものを取り除いてください
	圧力ジャケットに穴が空いている	弊社までご連絡ください (または販売店)
	各種システム異常が発生した (免荷、傾斜、送風、機器)	弊社までご連絡ください (または販売店)
免荷率が急低下した	ウエストリングとウエストシールが外れた	ウエストリングとウエストシールをしっかりと接合しなおしてください
	圧力ジャケットに穴が空いている	弊社までご連絡ください (または販売店)
走行ベルトが偏る	制限体重を超えている	制限体重内で使用してください
	走行ベルトが調整されていない	走行ベルトの張り調整をしてください
	故意に横方向に力を加えている	走行ベルトの張り調整を行い、正しく走行してください
	走行ベルトが緩んでいる	走行ベルトの張り調整をしてください
	調整ボルト A を締め忘れていた	走行ベルトの張りを調整し、調整ボルト A を締め直してください
走行ベルトがスリップする	走行ベルトと滑板の間にほこりなどが溜まっている	滑板の清掃を行ってください
	走行ベルトが緩んでいる	走行ベルトの張り調整をしてください
傾斜が急に止まった	緊急停止ボタンを押した	緊急停止ボタンを解除してください
	「免荷率急低下」が表示された	ウエストリングとウエストシールをしっかりと接合しなおしてください
	「圧力不足」が表示された	免荷が正しく行われていません 圧力ジャケット、ウエストシールの確認を行ってください
	傾斜キャスターの軌道上に異物がある	トレッドミルを停止させて、異物を取り除いてください
	各種システム異常が発生した (免荷、傾斜、送風、機器)	弊社までご連絡ください (または販売店)

傾斜が出来ない	免荷が始まる前に▲▼タッチしている (マニュアルモード)	「免荷準備中」が消えるまでお待ちください
	傾斜率設定を行っていない (インターバル、ビルドアップ)	傾斜率の設定を行ってください
送風が出来ない	各種システム異常が発生した (免荷、傾斜、送風、機器)	弊社までご連絡ください (または販売店)
異常音がする	ボルトが緩んでいる	ボルトの締め付けを確認してください
	圧力ジャケットが走行ベルトに接触している	圧力ジャケットが膨らみきってから、トレッドミルを動かしてください
	空気漏れが発生している	ベースと圧力ジャケット・ウエストリングとウエストシールの接合面がしっかりと止まっているか確認してください
低酸素機能が使えない	低酸素発生装置の電源が「ON」になっていない	低酸素発生装置の電源を「ON」にしてください
	コンプレッサーの配線がされていない	コンプレッサーの配線を行ってください
	低酸素発生装置と制御ボックスの配線が出来ていない	低酸素発生装置と制御ボックスの配線を行ってください
	「酸素装置異常」が表示された	弊社までご連絡ください (または販売店)
標高設定が変えられない	低酸素発生装置の電源が「ON」になっていない	低酸素発生装置の電源を「ON」にしてください
	本体と低酸素発生装置のコードが接続されていない	本体と低酸素発生装置間の配線を行ってください

1 1. 仕様

形式	・ ・ ・ ・ ・ DH4-30BB／DH4-30RS
製品寸法 (最大)	・ ・ ・ ・ ・ 長さ 3275mm×幅 1225mm×高さ 1710mm
走行面寸法	・ ・ ・ ・ ・ 長さ 1500mm×幅 600mm
製品質量	・ ・ ・ ・ ・ 480kg
表示方法	・ ・ ・ ・ ・ 液晶タッチパネル (走者用、手持ち用)
走行速度	・ ・ ・ ・ ・ 2.0～30.0km/h
免荷率	・ ・ ・ ・ ・ 0～50%
傾斜率	・ ・ ・ ・ ・ 0～15.0%
駆動方式	・ ・ ・ ・ ・ 交流電動機、ベルト駆動
電源入力	・ ・ ・ ・ ・ AC200V 3相 50/60Hz 30A
用途	・ ・ ・ ・ ・ 走力トレーニング用
電源コードの長さ	・ ・ ・ ・ ・ 8m
手持ち用タッチパネルコードの長さ	・ ・ ・ 6m

1 2. 保証について

(1) 保証の範囲

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。ただし、本製品がお客様の修理時に要するお客様の設備、装置、その他これらに付帯する工事費用、輸送等に要する費用ならびにお客様に生じた機会損失、操業損失その他の間接的な損害については保証範囲外となります。

(2) 保証期間

製品納入の日から1年間とします。

(3) 保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- ①取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- ②お買上後の輸送、落下等による故障及び損傷
- ③火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
- ④弊社以外での修理、改造（製品への穴あけなどを含む）による故障及び損傷
- ⑤弊社指定品以外の部品を使用している場合の故障及び損傷
- ⑥異物混入による故障及び損傷
- ⑦経年変化または使用に伴う変色、傷、消耗部品の自然消耗等の不具合

(4) この製品のご使用中に発生した不具合に起因する損害は補償いたしません。

(5) 以上の内容については、日本国内での使用を前提といたしております。

本保証は日本国内においてのみ有効です。

本機の海外での使用は、保証の範囲外となります。



昭和電機株式会社 大東工場 営業推進部
〒574-0052 大阪府大東市新田北町1番25号
Tel. 072(870)5708 Fax. 072(870)7243